

玉名市デジタル田園都市構想総合戦略

令和 6 年度分効果検証資料



令和 7 年 8 月 19 日

熊本県玉名市 企画経営課

【令和6年度改訂版】玉名市デジタル田園都市構想総合戦略 体系図

基本目標	基本的方向	検証番号	施策	成果指標	戦略冊子_頁	効果検証_頁	備考
【基本目標１】 玉名市の地域資源を活用した産業を育成し、魅力ある雇用を創出する	①農水産業の振興による雇用の創出	1	農水産物の振興	イチゴの生産量	P14	P1	令和5年度分 効果検証
				丸トマト・ミニトマトの生産量			
				なすの生産量		P2	
				海苔の生産量			
	②「玉名の逸品」の販路拡大による雇用の創出 ③企業誘致による雇用の創出 ④商工の振興による雇用の創出	2	農業の担い手育成と受皿づくり	集落営農、法人数	P16	P3	令和5年度分 効果検証
				新規就農者数			
		3	農林水産物を活用した商品の製造促進と販路拡大	「玉名の逸品」新規商談成立数	P17	P4	
		4	新規企業の誘致と雇用の創出	誘致企業の玉名市在住就業者数	P18		
				誘致企業との立地協定締結数		P5	
		5	起業家の創業支援	創業セミナー参加者のうち開業した者	P19		
		6	市内企業の人材確保の支援	就職希望高校生の地元就職率	P20	P6	
【基本目標２】 玉名市への新たな人の流れをつくる	①移住・定住の推進による人の流入	7	玉名市への移住・定住の促進	空き家バンク活用（成約）件数	P21	P7	
				移住相談会での相談受付組数			
				開設又は開設支援したサテライトオフィス等の数		P8	
	②都市部などとのつながりの構築による人の流入	8	関係人口の創出・拡大	個人版ふるさと納税寄附額	P23		
				玉名市応援団員数		P9	
		9	玉名市への資金の流れの創出・拡大	企業版ふるさと納税寄附件数	P24		
		10	シティプロモーションによる関係人口の創出・拡大	Y o u t u b e 玉名市公式チャンネル登録者数	P24	P10	
	③観光振興の推進による人の流入	11	玉名版DMOの構築	玉名観光協会会員数	P25		
				玉名版DMOの受託事業収益		P11	
		12	着地型旅行商品開発の推進	着地型旅行商品参加者数	P26		
		13	スポーツツーリズムの推進	スポーツツーリズム参加者数	P27	P12	
		14	インバウンド事業の推進	外国人宿泊者数	P28		
		15	観光DXの推進	(一社) 玉名観光協会のHPへのアクセス数（ページビュー数）	P29	P13	
【基本目標３】 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	①若い世代の結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援	16	若い世代の結婚希望の実現	成婚者数（荒尾・玉名郡市の合計）	P30	P14	
				荒尾・玉名地域結婚サポートセンター会員数（荒尾・玉名郡市の合計）			
		17	切れ目ない妊娠・出産・育児支援の充実	この地域で子育てしたいと思う親の割合	P31	P15	
				乳児家庭訪問指導率			
				出産準備給付金・子育て応援給付金の受給割合		P16	

【基本目標3】 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	①若い世代の結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援	18	子育て支援の充実	保育の待機児童数	P32	P16	
				放課後児童クラブの待機児童数		P17	
				ファミリーサポートセンター講習会新規受講者数			
	19	妊娠、出産、子育ての各段階に応じたきめ細やかな対策	支援が必要な妊産婦、子育て世帯に対する相談支援率	P34	P18		
②学校教育の充実	20	特色ある学校づくりの推進	学校生活が楽しいと答えた児童・生徒の割合	P35			
【基本目標4】 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	①公共交通網の充実	21	公共交通の利便性の向上	公共交通不便地域の解消率	P36	P19	
	②安心・安全なまちづくり	22	健康・福祉の充実	検診受診率（大腸）	P38	P20	
				玉名市自殺者数			
				高齢者向けスマートフォン講座やパソコンスキル向上のための講座の開催回数			
		23	防災体制の強化	「玉名市安心メール」登録者数	P40	P21	
				自主防災組織結成率（258行政区）			
		24	安全なまちづくり	防犯灯のLED設置灯数（基）	P41	P22	
				防犯カメラの設置台数（基）			
	③環境・協働のまちづくり	25	豊かな自然と環境保全	一般廃棄物処理量	P42	P23	
		26	協働によるまちづくり	高校・大学との連携及び協力実績件数	P43		
	④暮らしやすいまちづくり	27	コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進	グランドデザイン（全体構想）の策定	P44	P24	
		28	まちづくりDXの推進	地域課題解決のためのユースケース開発事業数	P45		
		29	学校教育の充実	市内小中学校において、学習用タブレットを持ち帰っての家庭学習を行った1週間の平均日数	P46	P25	
		30	生涯学習の充実	電子図書館の閲覧数	P47		P26
				スマートフォン関連講座の開催回数			
	⑤誰もが居場所と役割を持つ地域社会の実現	31	人材育成・協働のまちづくりの推進	地域づくりを学ぶためのワークショップの開催回数	P48	P27	
				男女共同参画関連事業数			
		32	若者が住みたいまちをつくる	アイデアソンなどの開催回数	P49	P28	
			アイデアの提案数				
	⑥スマート自治体の推進	33	自治体行政スマートプロジェクトの推進	AI、RPAを活用している業務数	P50		
	⑦SDGsの実現による持続可能なまちづくり	34	SDGsを理解する	SDGs市民認知率	P51	P29	
	⑧デジタル行政サービスの推進	35	自治体DXの推進	玉名市公式LINEの登録者数	P52	P30	
				コンビニ等で交付した証明書の発行割合			
4基本目標	17基本的方向	35施策					

※ 赤字は令和6年度の改訂箇所

【検証番号】〇

施策名	< ① >							
担当課	成果指標と 8 年後の目標値							基準値
< ② >	< ③ >							< ④ >
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
実績値					< ⑤ >			
達成率					< ⑥ >			
今後の方向性					< ⑦ >			
実績値の前年比増減理由	< ⑧ >							
①令和 6 年度 of 取組と ②「今後の方向性」を 踏まえたこれからの取組について	< ⑨ >							
担当課 の意見	< ⑩ >							
実績値 の推移	< ⑪ >							

「シートの見方」

< ① > : 玉名市総合戦略に設定されている施策名称を記入

< ② > : 事業を実施する担当課を記入

< ③ > : 施策に対する成果指標と 8 年後（令和 9 年度）の目標値を記入

< ④ > : 事業実施前の実績値（基準値）を記入

< ⑤ > : 各年度 of 事業実績値を記入

< ⑥ > : 各年度 of 達成率を記入

算式：（実績値 ÷ 目標値）× 100 = 達成率

目標値が「0」の場合の算式：1 - （実績値 ÷ 基準値）× 100 = 達成率

< ⑦ > : 事業 of 今後の方向性について 5 つ of 方向性を記入

・ 拡充して継続 ・ 現状のまま継続

・ 執行方法 of 改善 ・ 縮小して継続

・ 休止・廃止

< ⑧ > : 実績値 of 前年比増減理由を記入

< ⑨ > : 検証年度 of 取組と「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組を記入

< ⑩ > : 事業内容に対する担当課 of 意見を記入

< ⑪ > : 各年度 of 実績値 of 推移をグラフで表示

【検証番号】1

施策名		農水産物の振興																				
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値														
農業政策課		イチゴの生産量					2,463 t	2,372 t														
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度														
実績値	2,294 t	2,170 t	2,359 t	2,280 t	2,087 t	令和5年度分効果検証 (実績値確定のため) 令和6年度分は速報値																
達成率	93.1%	88.1%	95.8%	92.6%	84.7%																	
今後の方向性	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続																	
実績値の前年比増減理由		出荷開始以降の定期的な降雨と日照不足の影響で、着果負担時の樹勢回復が図られず最終的に収量減につながった。																				
①令和 6 年度を取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		産地生産基盤パワーアップ、攻めの園芸、燃油価格補填事業、市機械補助、市農業用被覆資材緊急支援事業等により経営の安定化を支援した。今後も補助事業等を活用した経営力の強化の推進や、トップセールス等を実施し販売単価の回復及び向上に努めていく。																				
担当課の意見		ウクライナ情勢の長期化や円安の継続により、エネルギーや肥料、飼料などの生産資材が高騰し、加えて販売価格の低迷も重なって、生産者にとって厳しい経営環境が続いています。さらに、人手不足や物流コストの上昇など、複合的な要因が経営を圧迫している。このような状況を踏まえ、現場の実情に即した支援策や負担軽減措置について、今後も引き続き検討し、必要な対応を講じていく。																				
実績値の推移		<div>イチゴの生産量</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>2,294 t</td><td rowspan="5">2,463 t</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>2,170 t</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>2,359 t</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>2,280 t</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2,087 t</td></tr></tbody></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度	2,294 t	2,463 t	令和3年度	2,170 t	令和4年度	2,359 t	令和5年度	2,280 t	令和6年度	2,087 t
年度	実績値	目標値																				
令和2年度	2,294 t	2,463 t																				
令和3年度	2,170 t																					
令和4年度	2,359 t																					
令和5年度	2,280 t																					
令和6年度	2,087 t																					

施策名		農水産物の振興																					
担当課		成果指標と 8 年後の目標値							基準値														
農業政策課		丸トマト・ミニトマトの生産量					30,485 t	30,230 t															
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度															
実績値	28,862 t	26,566 t	26,062 t	25,627 t	22,236 t	令和5年度分効果検証 (実績値確定のため) 令和6年度分は速報値																	
達成率	94.7%	87.1%	85.5%	84.1%	72.9%																		
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																		
実績値の前年比増減理由		温暖化傾向に伴い、年々コナジラミの発生が多く、耐候性品種が主体となり昨年より「黄化葉巻病」「黄化病」の被害拡大が見受けられた。																					
①令和 6 年度を取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		産地生産基盤パワーアップ、攻めの園芸、燃油価格補填事業、市機械補助、市農業用被覆資材緊急支援事業等により経営の安定化を支援した。今後も補助事業等を活用した経営力の強化の推進や、トップセールス等を実施し販売単価の回復及び向上に努めていく。																					
担当課の意見		ウクライナ情勢の長期化や円安の継続により、エネルギーや肥料、飼料などの生産資材が高騰し、加えて販売価格の低迷も重なって、生産者にとって厳しい経営環境が続いています。さらに、人手不足や物流コストの上昇など、複合的な要因が経営を圧迫している。このような状況を踏まえ、現場の実情に即した支援策や負担軽減措置について、今後も引き続き検討し、必要な対応を講じていく。																					
実績値の推移		<div>丸トマト・ミニトマトの生産量</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>28,862 t</td><td rowspan="5">30,485 t</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>26,566 t</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>26,062 t</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>25,627 t</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>22,236 t</td></tr></tbody></table> <div>令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度</div> <div>実績値 目標値</div>								年度	実績値	目標値	令和2年度	28,862 t	30,485 t	令和3年度	26,566 t	令和4年度	26,062 t	令和5年度	25,627 t	令和6年度	22,236 t
年度	実績値	目標値																					
令和2年度	28,862 t	30,485 t																					
令和3年度	26,566 t																						
令和4年度	26,062 t																						
令和5年度	25,627 t																						
令和6年度	22,236 t																						

施策名		農水産物の振興																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
農業政策課		なすの生産量					3,124 t	2,424 t																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	2,979 t	3,238 t	3,438 t	3,905 t	3,103 t	令和5年度分効果検証 (実績値確定のため) 令和6年度分は速報値																													
達成率	95.4%	103.6%	110.1%	125.0%	99.3%																														
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		P C 筑陽の技術向上。また、天候不順に関わらず好調な出荷となった。																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		産地生産基盤パワーアップ、攻めの園芸、燃油価格補填事業、市機械補助、市農業用被覆資材緊急支援事業等により経営の安定化を支援した。今後も補助事業等を活用した経営力の強化の推進や、トップセールス等を実施し販売単価の回復及び向上に努めていく。																																	
担当課の意見		ウクライナ情勢の長期化や円安の継続により、エネルギーや肥料、飼料などの生産資材が高騰し、加えて販売価格の低迷も重なって、生産者にとって厳しい経営環境が続いています。さらに、人手不足や物流コストの上昇など、複合的な要因が経営を圧迫している。このような状況を踏まえ、現場の実情に即した支援策や負担軽減措置について、今後も引き続き検討し、必要な対応を講じていく。																																	
実績値の推移		<div>なすの生産量</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (t)</th><th>目標値 (t)</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>2,979</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>3,238</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>3,438</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>3,905</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>3,103</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>3,124</td></tr></tbody></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値 (t)	目標値 (t)	令和2年度	2,979		令和3年度	3,238		令和4年度	3,438		令和5年度	3,905		令和6年度	3,103		令和7年度			令和8年度			令和9年度		3,124
年度	実績値 (t)	目標値 (t)																																	
令和2年度	2,979																																		
令和3年度	3,238																																		
令和4年度	3,438																																		
令和5年度	3,905																																		
令和6年度	3,103																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		3,124																																	

施策名		農水産物の振興																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
水産林務課		海苔の生産量					149,231 千枚	127,824 千枚																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	158,348 千枚	166,740 千枚	112,301 千枚	123,683 千枚	137,827 千枚																														
達成率	106.1%	111.7%	75.3%	82.9%	92.4%																														
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		高水温により種付け時期が遅れたことや栄養塩不足による色落ち等により、目標枚数には及ばなかったものの、昨年度より増加した。																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①漁協の拠点となる新川漁港において、潮位に関係なく出入港ができるよう泊地のしゅんせつを実施した。 ②漁業者が生産活動に専念できる環境を提供するため、しゅんせつ等の機能保全や施設の整備を継続的に実施する。																																	
担当課の意見		海苔養殖は、海水温が高くノリの種付けが1カ月程遅れ漁期が短縮したことや、栄養塩不足による色落ち等により生産枚数が伸び悩んだ。しかし、他産地の不作により平均単価、生産額ともに過去最高を記録した。 漁業の拠点である漁港は、有明海特有の浮泥堆積による泊地埋没が顕著で、帰港の際に干潮と重なると、海上で潮待ちしなければ入港出来ない。ノリ養殖時期には陸上での加工作業が遅れ、漁労時間の延長を余儀なくされている。このことから、漁労環境及び生産量の向上を図るためにも、適切な施設の機能保全を継続して実施する。																																	
実績値の推移		<div>海苔の生産量</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (千枚)</th><th>目標値 (千枚)</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>158,348</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>166,740</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>112,301</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>123,683</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>137,827</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>149,231</td></tr></tbody></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値 (千枚)	目標値 (千枚)	令和2年度	158,348		令和3年度	166,740		令和4年度	112,301		令和5年度	123,683		令和6年度	137,827		令和7年度			令和8年度			令和9年度		149,231
年度	実績値 (千枚)	目標値 (千枚)																																	
令和2年度	158,348																																		
令和3年度	166,740																																		
令和4年度	112,301																																		
令和5年度	123,683																																		
令和6年度	137,827																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		149,231																																	

【検証番号】2

施策名		農業の担い手育成と受皿づくり																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
農業政策課		集落営農、法人数						90法人	77法人																										
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値				72法人	74法人																														
達成率				80.0%	82.2%																														
今後の方向性				現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		昨年度に比べ法人数が2経営体増加した。																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		少子高齢化等を背景に農業従事者が減少する中、各法人や地域内で法人化した集落営農組織等をはじめとした将来を担う担い手に対する支援策として、農作業の効率化及び生産コストの減少による所得の向上を図る取組として農地の集約化に対する市独自の補助事業を引き続き実施した。 今後も引き続き本市の基幹産業である農業を維持していくため、将来を担う担い手に対し各種支援策を継続的に行うとともに法人等の増加に繋げていきたい。																																	
担当課の意見		本市の基幹産業である農業の分野においては、近年加速化する少子高齢化に伴う農業従事者の減少や耕作放棄地の増加等が喫緊の課題となっている。 このような情勢の中、将来的に本市の農地を適切に守り抜いていくためには、各法人や地域内で法人化した集落営農組織等の担い手を核として支援しながら増加させていく必要があることから、今後も引き続き農地の集約化を推進し農作業の効率化及び生産コストの減少による所得の向上を図るとともに、県やJA等の関係団体等とも連絡を密にしながら魅力ある農業の実現を目指していきたい。																																	
実績値の推移		<div>集落営農、法人数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>72法人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>74法人</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>90法人</td></tr></tbody></table> <div>■ 実績値 ■ 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度	72法人		令和6年度	74法人		令和7年度			令和8年度			令和9年度		90法人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度																																			
令和3年度																																			
令和4年度																																			
令和5年度	72法人																																		
令和6年度	74法人																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		90法人																																	

施策名		農業の担い手育成と受皿づくり																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値							基準値																										
農業政策課		新規就農者数（累計）					30人	6人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	20人	28人	37人	51人		令和5年度分効果検証 （実績値確定のため） 令和6年度分は未公表																													
達成率	66.7%	93.3%	123.3%	170.0%																															
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																															
実績値の前年比増減理由		前年度より主に新規学卒及びUターン就農、新規参入、雇用就農などで14名増加したことにより合計51名（累計）となった。																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		年々減少していく農業従事者を維持していくため、本市では新規就農者等の確保を目的として玉名圏域内の近隣市町と連携・協力しながら玉名圏域定住自立圏事業に長年取り組んでいることから、引き続き農業の魅力や研修受け入れ農家等の情報発信を行うとともに、専門的な講師を招いた農業に関する合同勉強会などを開催した。 今後も引き続き、新規就農者等の確保に向けて本市の基幹産業である農業の魅力発信などに取り組んでいきたい。																																	
担当課の意見		農業を基幹産業とする本市においては、少子高齢化等を背景に農業従事者が減少する中、新規就農者等の確保が急務となっている。そのため、本市のみならず玉名圏域の自治体と連携・協力しながら新規就農者等の確保に向けて引き続き取り組んでいく。 ※ 新規就農者の実績値（新規学卒、Uターン、新規参入、雇用就農分）については、熊本県農林水産部生産経営局（農地・担い手支援課）及び一般社団法人熊本県農業会議が毎年度出版されている「青年農業者・新規就農者実態補完調査結果」より数値を引用しているため、令和6年度の実績はR8.3月頃に公表される予定。（冊子についても、R8.3月頃に出版予定。）																																	
実績値の推移		<div>新規就農者数(累計)</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>20人</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>28人</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>37人</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>51人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>30人</td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	20人		令和3年度	28人		令和4年度	37人		令和5年度	51人		令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度		30人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	20人																																		
令和3年度	28人																																		
令和4年度	37人																																		
令和5年度	51人																																		
令和6年度																																			
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		30人																																	

【検証番号】3

施策名		農林水産物を活用した商品の製造促進と販路拡大																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
観光物産課		「玉名の逸品」新規商談成立数（累計）					10件	0件																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値					7件																														
達成率					70.0%																														
今後の方向性					現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		令和5年度改訂に伴う新規成果指標で令和6年度より事業実施のため初回計上値。																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		令和5年10月に包括連携協定を締結した肥後銀行と連携して販路拡大事業を実施。令和6年度はイオン九州との商談セミナー及び商談会を開催した。商談セミナーに参加した16社のうち13社が商談まで進み、7社が取引を開始した。今後も肥後銀行と連携し、玉名の逸品の販路拡大をはじめ、認知度や事業者・生産者の商談スキルの向上を目的として事業を実施する。																																	
担当課の意見		令和6年度に商談セミナー及び商談会を実施したイオン九州とは、販路を拡大したい市と、地元の産品を取り扱いたいというイオン九州のお互いの利益が合致した結果、商談件数の実績にもつながった。肥後銀行と連携し、イオン九州との取引は継続しながら、新たな販路の開拓も進めていく。																																	
実績値の推移		<div>「玉名の逸品」新規商談成立数(累計)</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>7</td><td>7</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>7</td><td>7</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td>7</td><td>7</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td>7</td><td>10</td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	0	0	令和3年度	0	0	令和4年度	0	0	令和5年度	0	0	令和6年度	7	7	令和7年度	7	7	令和8年度	7	7	令和9年度	7	10
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	0	0																																	
令和3年度	0	0																																	
令和4年度	0	0																																	
令和5年度	0	0																																	
令和6年度	7	7																																	
令和7年度	7	7																																	
令和8年度	7	7																																	
令和9年度	7	10																																	

【検証番号】4

施策名		新規企業の誘致と雇用の創出																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
商工政策課		誘致企業の玉名市在住就業者数					1,372人	1,052人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	1,006人	1,025人	1,049人	1,193人	1,165人																														
達成率	73.3%	74.7%	76.5%	87.0%	84.9%																														
今後の方向性	執行方法の改善	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		前年より減少した。地元採用が困難なため。																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		地元人材の雇用が見込まれる企業をターゲットに新規誘致活動を行うとともに、既立地企業に対して企業ガイダンスなどの人材確保支援事業を積極的に案内していく。																																	
担当課の意見	市内外の企業が人材を獲得するのに苦慮しており、新規企業を玉名市に呼び込むためにも引き続き人材確保支援を行っていきたい。																																		
実績値の推移	<div>誘致企業の玉名市在住就業者数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>1,006人</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>1,025人</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>1,049人</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1,193人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>1,165人</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>1,372人</td></tr></tbody></table>								年度	実績値	目標値	令和2年度	1,006人		令和3年度	1,025人		令和4年度	1,049人		令和5年度	1,193人		令和6年度	1,165人		令和7年度			令和8年度			令和9年度		1,372人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	1,006人																																		
令和3年度	1,025人																																		
令和4年度	1,049人																																		
令和5年度	1,193人																																		
令和6年度	1,165人																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		1,372人																																	

施策名		新規企業の誘致と雇用の創出						
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値
商工政策課		誘致企業との立地協定締結数（累計）						6件
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績値						9件		
達成率						50.0%		
今後の方向性						現状のまま継続		
実績値の前年比増減理由		改訂に伴う新規成果指標のため令和6年度が初回計上値。						
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		企業立地推進計画に基づき新規企業の誘致を行う。また、並行して既立地企業へ充実したアフターフォローを行い玉名市への定着を図る。						
担当課の意見		国内外企業の熊本県内への投資意欲は高い傾向にある。企業のニーズにあった用地を準備することが、進出先として選ばれる条件になる。また、進出企業に玉名で長く操業してもらうため、操業後のアフターフォローを行っていく。						
実績値の推移		<p>誘致企業との立地協定締結数（累計）</p> <p>※「誘致企業との立地協定締結数」の中には、新設・増設が含まれる</p>						

【検証番号】5

施策名		起業家の創業支援						
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値
商工政策課		創業セミナー参加者のうち開業した者（累計）						5人
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績値		0人	1人	1人	3人	3人		
達成率		0.0%	10.0%	10.0%	30.0%	30.0%		
今後の方向性		現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続		
実績値の前年比増減理由		令和6年度中には創業セミナー受講者の開業はなかった。						
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①全5回の日程で実施。創業の心構え、創業計画書の必要性や作成、資金調達方法などについてワークショップを交えセミナーを行った。 ②今後も地域経済の域内循環に資する小規模事業者の新規創業を中心に、支援方法のブラッシュアップや受講後のフォローアップを行いながら取り組んでいく。						
担当課の意見		基本的な内容を中心にセミナーを行い、創業に関する知識を得ていただくとともに、創業計画書の作成に関する講師のアドバイスや適切なフォローアップで開業後の経営安定及び事業継続に寄与するセミナーとしたい。						
実績値の推移		<p>創業セミナー参加者のうち開業した者（累計）</p>						

【検証番号】6

施策名		市内企業の人材確保の支援																								
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																		
商工政策課		就職希望高校生の地元就職率					45%	34%																		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																		
実績値	29%	32%	36%	33%	31%																					
達成率	64.4%	71.1%	79.1%	73.3%	69.1%																					
今後の方向性	執行方法の改善	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	執行方法の改善																					
実績値の前年比増減理由		福岡県への就職者が増えている。																								
①令和6年度を取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①玉名圏域定住自立圏事業として企業ガイダンスを3月14日に開催した。荒玉圏内の高校8校から、生徒275名が参加した。 ②近年の労働者不足を背景に求人は多いが、地元定着にはなかなか結び付いていない。通年を通し、地元企業等のアピールを続けることが必要と思われる。																								
担当課の意見		全国的に人材不足が叫ばれている中、近年の熊本への企業進出動向を見ると、高校と連携した企業周知活動を行うことが定着につながると考えられる。 就職意向がない学生にも、将来の地元志向につながるように学校と連携して効果的な取り組みを検討していく。																								
実績値の推移		<div>就職希望高校生の地元就職率</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>29%</td><td>45%</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>32%</td><td>45%</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>36%</td><td>45%</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>33%</td><td>45%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>31%</td><td>45%</td></tr></tbody></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値 (%)	目標値 (%)	令和2年度	29%	45%	令和3年度	32%	45%	令和4年度	36%	45%	令和5年度	33%	45%	令和6年度	31%	45%
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																								
令和2年度	29%	45%																								
令和3年度	32%	45%																								
令和4年度	36%	45%																								
令和5年度	33%	45%																								
令和6年度	31%	45%																								

【検証番号】7

施策名		玉名市への移住・定住の促進																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
住宅課		空き家バンク活用（成約）件数（累計）					22件	2件																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	1件	2件	5件	8件	9件																														
達成率	4.5%	9.1%	22.7%	36.4%	40.9%																														
今後の方向性	執行方法の改善	拡充して継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		空き家バンクの登録物件の不足																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①・熊本県空き家バンクプラットフォームに加え、全国版空き家バンクプラットフォームに参画し、情報発信の強化を図った。・不動産協会と「空き家バンクによる物件の調査及び媒介に関する協定」を締結し専門性強化を図った。・空き家バンクへの物件の登録が新たに3件あった。・空き家取得補助金2件の交付を行った。 ②・空き家の相談は相続人や市外在住者からのものも多く、解決に向け伴走が必要であるため、不動産協会、司法書士会、土地家屋調査士会等と空家等対策プラットフォームを組織し、ワンストップ窓口を設置する。・令和7年度に行う空家実態調査と併せて意向調査を実施し、活用可能な空き家の掘り起こし、所有者等へのアプローチを行う。																																	
担当課の意見		令和6年度中に寄せられた相談は301件にのぼり、前年比3倍以上の増加であった。相談内容の内訳は、解体110件、利活用67件、近隣空家に対する苦情66件、その他58件と、解体の相談が最も多い。このことは、活用と両輪で進めている、老朽空家の所有者等に対する適正管理の依頼・指導を強化したためである。 一方、空き家バンクの買い手・借り手からの活用のニーズに対し、登録されたモノがない状況であり、空き家バンク登録件数を増加する施策が必要である。																																	
実績値の推移		<div>空き家バンク活用(成約)件数(累計)</div> <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td>1件</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>2件</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>5件</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>8件</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>9件</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>22件</td></tr></table> <div>■ 実績値 ■ 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度	1件		令和3年度	2件		令和4年度	5件		令和5年度	8件		令和6年度	9件		令和7年度			令和8年度			令和9年度		22件
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	1件																																		
令和3年度	2件																																		
令和4年度	5件																																		
令和5年度	8件																																		
令和6年度	9件																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		22件																																	

施策名		玉名市への移住・定住の促進																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
地域振興課		移住相談会での相談受付組数（累計）					75組	6組																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	0組	19組	38組	60組	107組																														
達成率	0.0%	25.3%	50.7%	80.0%	142.7%																														
今後の方向性	執行方法の改善	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		相談会への参加回数増により増加したものとする。																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①・R6.8.24(土)に「こぎんよかとこ！くまもと暮らし〜あらたま編〜(福岡県)」相談会に参加し、6組6名の相談を受け付けた。 ・R6.8.25(日)に「あらたま地域オンライン移住相談会」に参加し、1組1名の相談を受け付けた。 ・R6.10.12(土)に「くまもと移住FES2024in東京」に参加し、26組30名の相談を受け付けた。 ・R6.10.23(水)に「あらたま地域オンライン移住相談会」に参加し、2組3名の相談を受け付けた。 ・R6.11.30(土)に「移住相談会in福岡」に参加し、4組5名の相談を受け付けた。 ・R7.2.1(土)に「あらたま地域オンライン移住相談会」に参加し、3組3名の相談を受け付けた。 ・R7.2.4(火)に「オンライン交流イベント「コミュニティと暮らし」」に参加した。(相談実施なし) ・R7.2.8(土)に「くまもと旅と暮らしMeeting(大阪府)」に参加し、5組5名の相談を受け付けた。 ②移住相談会等に引き続き参加するとともに、市公式LINE「たまなファンクラブ」LINEを用いて、玉名市外にお住まいの方に向けた情報発信を行う。																																	
担当課の意見		イベント出展によるPRや相談実施などが、直ちに実際の移住につながるケースは少ないが、引き続き、効果が見込める取り組みを選択し、また、近隣市町などで連携し、移住定住の促進を図る。																																	
実績値の推移		<div>移住相談会での相談受付組数（累計）</div> <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td>0組</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>19組</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>38組</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>60組</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>107組</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>75組</td></tr></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度	0組		令和3年度	19組		令和4年度	38組		令和5年度	60組		令和6年度	107組		令和7年度			令和8年度			令和9年度		75組
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	0組																																		
令和3年度	19組																																		
令和4年度	38組																																		
令和5年度	60組																																		
令和6年度	107組																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		75組																																	

施策名		玉名市への移住・定住の促進																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
企画経営課		開設又は開設支援したサテライトオフィス等の数（累計）					2件	0件																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値		0件	0件	2件	2件																														
達成率		0.0%	0.0%	100.0%	100.0%																														
今後の方向性		拡充して継続	拡充して継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		サテライトオフィスの整備が令和5年度に完了したため。																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①各施設運営者と連携し、SNSや市HP及び広報誌への掲載を行い利用促進を図った結果、認知度が向上し利用者数増加につながった。 ②引き続き各施設運営者と連携しながら広くPRを行い、利用促進を図っていく。																																	
担当課の意見		令和6年度から本格的な運用開始となったが、年度当初は施設認知度が低く、利用者数も少なかったが、市HPや広報での発信などを通し利用者数の増加に繋がった。 天水地区については、県外企業の継続的な利用が伸び悩んでいることから、観光農園や周辺の温泉、キャンプ施設等と連携した取組などを施設運営者に働きかけ、付加価値の高い施設であることをPRすることで、県外企業の利活用を図りたい。 玉名駅前の施設については、新たなまちづくりの官民連携の事業が行われたり、高校生の地域づくりの活動拠点として活用されており、施設の積極的な活用による自走した施設運営のためにも、今後もテレワークのみならず施設の幅広い活用を促すことで、新たな利用者の獲得及び地域の中心施設となることを目指していく。																																	
実績値の推移		開設又は開設支援したサテライトオフィス等の数(累計) <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td>0件</td><td>2件</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>0件</td><td>2件</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>0件</td><td>2件</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>2件</td><td>2件</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2件</td><td>2件</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>2件</td><td>2件</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td>2件</td><td>2件</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td>2件</td><td>2件</td></tr></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	0件	2件	令和3年度	0件	2件	令和4年度	0件	2件	令和5年度	2件	2件	令和6年度	2件	2件	令和7年度	2件	2件	令和8年度	2件	2件	令和9年度	2件	2件
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	0件	2件																																	
令和3年度	0件	2件																																	
令和4年度	0件	2件																																	
令和5年度	2件	2件																																	
令和6年度	2件	2件																																	
令和7年度	2件	2件																																	
令和8年度	2件	2件																																	
令和9年度	2件	2件																																	

【検証番号】8

施策名		関係人口の創出・拡大																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
地域振興課		個人版ふるさと納税寄附額					1,500,000千円	72,348千円																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	877,394千円	1,117,921千円	1,037,380千円	846,354千円	1,086,849千円																														
達成率	58.5%	74.5%	69.2%	56.4%	72.5%																														
今後の方向性	拡充して継続	拡充して継続	拡充して継続	拡充して継続	執行方法の改善																														
実績値の前年比増減理由		・事業者の協力のもと、寄附者にとって魅力的な返礼品・寄附額設定となるよう取り組んだ。 ・各イベントでのPRの効果。																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①新規ポータルサイト（「ふるさと生活」、「Amazonふるさと納税」）を導入した。ふるさとチョイス大感謝祭へ出展し市と特産品のPRを行った。 ②LINEの市外の方向けカテゴリで情報発信を行う。配送料がかからない体験型の返礼品の強化や、ガバメントクラウドファンディングに取り組む。楽天ふるさと納税の強化。																																	
担当課の意見		引き続き、事業者の協力のもと、寄附者にとって魅力的な返礼品・寄附額設定となるよう取り組む。 令和7年度は体験型返礼品の強化やガバメントクラウドファンディング、寄附額の伸びが見込める「楽天ふるさと納税」の強化に取り組みたい。また、日常的にLINEでの情報発信を行い目標寄附額に近づけたい。																																	
実績値の推移		<p>個人版ふるさと納税寄附金額</p> <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td>877,394千円</td><td>1,500,000千円</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>1,117,921千円</td><td>1,500,000千円</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>1,037,380千円</td><td>1,500,000千円</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>846,354千円</td><td>1,500,000千円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>1,086,849千円</td><td>1,500,000千円</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>1,500,000千円</td><td>1,500,000千円</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td>1,500,000千円</td><td>1,500,000千円</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td>1,500,000千円</td><td>1,500,000千円</td></tr></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	877,394千円	1,500,000千円	令和3年度	1,117,921千円	1,500,000千円	令和4年度	1,037,380千円	1,500,000千円	令和5年度	846,354千円	1,500,000千円	令和6年度	1,086,849千円	1,500,000千円	令和7年度	1,500,000千円	1,500,000千円	令和8年度	1,500,000千円	1,500,000千円	令和9年度	1,500,000千円	1,500,000千円
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	877,394千円	1,500,000千円																																	
令和3年度	1,117,921千円	1,500,000千円																																	
令和4年度	1,037,380千円	1,500,000千円																																	
令和5年度	846,354千円	1,500,000千円																																	
令和6年度	1,086,849千円	1,500,000千円																																	
令和7年度	1,500,000千円	1,500,000千円																																	
令和8年度	1,500,000千円	1,500,000千円																																	
令和9年度	1,500,000千円	1,500,000千円																																	

施策名		関係人口の創出・拡大																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
地域振興課		玉名市応援団員数					100人	0人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値				0人	736人																														
達成率				0.0%	736.0%																														
今後の方向性				拡充して継続	拡充して継続																														
実績値の前年比増減理由		都心で行われた各イベント参加時に、多くの来場者があり、その際LINE登録を促すPRを行ったため、登録者数が大幅に伸びた。																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①玉名市公式LINEの中に市外の方向けカテゴリを作り、登録してくれた方に玉名市の情報を随時配信した。 ②令和6年度と同様に、玉名市の広報や地域おこし協力隊の活動内容、ふるさと納税についての情報等、月に1、2回程度配信を行う。各イベントに参加した際には、登録を促すPRを行う。																																	
担当課の意見		玉名市応援団に登録してくれている方に、LINEで玉名市の様々な情報を配信することによって、玉名市をより応援してもらうことを目的としている。LINE配信によって、ふるさと納税の寄附額増加や、移住定住者の増加など、様々な面で効果が見込めると考える。																																	
実績値の推移		<div>玉名市応援団員数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>0人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>736人</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>100人</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度	0人		令和6年度	736人		令和7年度			令和8年度		100人	令和9年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度																																			
令和3年度																																			
令和4年度																																			
令和5年度	0人																																		
令和6年度	736人																																		
令和7年度																																			
令和8年度		100人																																	
令和9年度																																			

【検証番号】9

施策名		玉名市への資金の流れの創出・拡大																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
企画経営課		企業版ふるさと納税寄附件数（累計）					55件	1件																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値		1件	5件	14件	24件																														
達成率		1.8%	9.1%	25.5%	43.6%																														
今後の方向性		拡充して継続	拡充して継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		推奨プロジェクトをひとつに絞り、担当課の職員が積極的にPRしたことで、寄附獲得件数の維持につながった。																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①ホームページ等での周知と併せて、仲介委託業者による支援活用（寄附を行いたい市外の企業とのマッチングや助言、情報提供等）により寄附獲得を図り、スポーツツーリズムの推進など、総合戦略に基づく地域再生計画で認定された事業に寄附金を活用した。 ②今後も仲介委託業者と連携しながら本市の地方創生プロジェクトを広くPRし、寄附獲得を図る。																																	
担当課の意見		前年度に引き続き、いだてんマラソンの担当課職員による積極的なPRにより寄附件数の維持はできた。しかしながら、全国的に災害支援に寄附が集まるため、例年に比べ寄附金額は伸びなかった。今後の目標達成に向け、企業に興味関心を持ってもらえるような特色あるプロジェクトの創設に取り組んでいく必要がある。また、職員に対して制度内容を周知し、事業に対する理解度向上を図ることで、関係する企業に玉名市へ寄附を行うことで得られるメリットを積極的にPRするよう働きかける必要がある。																																	
実績値の推移		<div>企業版ふるさと納税寄附件数(累計)</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>1件</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>5件</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>14件</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>24件</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>55件</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度			令和3年度	1件		令和4年度	5件		令和5年度	14件		令和6年度	24件		令和7年度			令和8年度		55件	令和9年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度																																			
令和3年度	1件																																		
令和4年度	5件																																		
令和5年度	14件																																		
令和6年度	24件																																		
令和7年度																																			
令和8年度		55件																																	
令和9年度																																			

【検証番号】10

施策名		シティプロモーションによる関係人口の創出・拡大																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
地域振興課		Y o u t u b e 玉名市公式チャンネル登録者数					1,000人	727人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値				765人	1,002人																														
達成率				76.5%	100.2%																														
今後の方向性				現状のま ま継続	現状のま ま継続																														
実績値の前年比増減理由		地域おこし協力隊（メディアクリエイター）が様々な取材を行い、動画を制作・編集。その投稿が成果を上げた。																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①地域おこし協力隊（メディアクリエイター）が、リポーターとなり各種イベントの様様や、地域の話題・出来事を取材・収録。自ら編集・アフレコを行い制作した動画をYoutube玉名市公式チャンネルに投稿。また、市のPR用の動画制作も行った。 ②実績値は上がっているため、現状を維持したい。しかしながら、地域おこし協力隊（メディアクリエイター）の任期が令和7年10月末日までのため、11月以降の体制について検討する。																																	
担当課の意見		Youtube玉名市公式チャンネルは当課のみならず全庁的な動画投稿窓口のため、当課の意向のみを反映するわけにいかず、視聴者の嗜好に特化したチャンネル構成ができない。よって、劇的な登録者数の増加は望めないものの、視聴者の興味・関心を引くコンテンツの用意や、ターゲット視聴者をイメージした投稿、市公式LINEからのチャンネル誘導を図るなど、あらゆる手段を駆使しつつ、視聴者の地道な獲得につなげたい。																																	
実績値の推移		<div>Youtube玉名市公式チャンネル登録者数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>765人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>1,002人</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>1,000人</td></tr></tbody></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度	765人		令和6年度	1,002人		令和7年度			令和8年度			令和9年度		1,000人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度																																			
令和3年度																																			
令和4年度																																			
令和5年度	765人																																		
令和6年度	1,002人																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		1,000人																																	

【検証番号】11

施策名		玉名版DMOの構築																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
観光物産課		玉名観光協会会員数						73人	66人																										
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値					70人																														
達成率					95.9%																														
今後の方向性					現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		改訂に伴う新規成果指標のため令和6年度が初回計上値。																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①R6年度から玉名観光協会総務機能の一部を玉名市観光物産課と同じフロア移管し、これまで双方に行っていた取り組みを1本化に集約し、連携したプロモーションを実施。 ②R7年度は観光協会内に物産販売、宿泊、プロモーション等の各部会を設置して、戦略的に機能する組織体制の構築を図っていく。																																	
担当課の意見	R6年度から玉名観光協会と連携を強化したことで事業や予算の集約に取り組んでいるところであるが、R7年度から玉名観光協会の職員体制が一新され、新たな体制のもと、行政や観光協会だけでなく、会員や市民と連携しながら観光地域づくりに取り組んでいく。																																		
実績値の推移	<div>玉名観光協会会員数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>70人</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>73人</td></tr></tbody></table> <div>●実績値 ●目標値</div>								年度	実績値	目標値	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	70人		令和7年度			令和8年度			令和9年度		73人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度																																			
令和3年度																																			
令和4年度																																			
令和5年度																																			
令和6年度	70人																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		73人																																	

施策名		玉名版DMOの構築																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
観光物産課		玉名版DMOの受託事業収益					7,200千円	950千円																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	2,950千円	28,950千円	5,221千円	4,254千円	8,821千円																														
達成率	41.0%	402.1%	72.5%	59.1%	122.5%																														
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		受託事業に積極的に手を挙げるにより、受託数及び受託金額の増加に繋がった。																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①・菊池川流域日本遺産ガイド運営業務・菊池川流域日本遺産情報発信業務・菊池川流域日本遺産Instagramフォトコンテスト・玉名市着地型観光商品開発業務・玉名市芸術祭業務・地域活性化起業人制度事業業務・ウェルネスツーリズム造成事業 ②R7年度についても、受託事業に対して積極的に取り組んで受託事業収益の増加を図っていく。																																	
担当課の意見		R7年度から玉名観光協会の職員体制が一新されたことを契機に、これまで硬直していた業務分担を見直し、職員の能力を引き出し協会会員と連携した取り組みができる職員配置をすることで、機能的に稼げるDMOとなることを目指していく。																																	
実績値の推移		<div>玉名版DMOの受託事業収益</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>2,950千円</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>28,950千円</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>5,221千円</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>4,254千円</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>8,821千円</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>7,200千円</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	2,950千円		令和3年度	28,950千円		令和4年度	5,221千円		令和5年度	4,254千円		令和6年度	8,821千円		令和7年度			令和8年度		7,200千円	令和9年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	2,950千円																																		
令和3年度	28,950千円																																		
令和4年度	5,221千円																																		
令和5年度	4,254千円																																		
令和6年度	8,821千円																																		
令和7年度																																			
令和8年度		7,200千円																																	
令和9年度																																			

【検証番号】12

施策名		着地型旅行商品開発の推進																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
観光物産課		着地型旅行商品参加者数					500人	210人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	76人	13人	603人	619人	758人																														
達成率	15.2%	2.6%	120.6%	123.8%	151.6%																														
今後の方向性	現状のまま継続	拡充して継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		イベント開催により参加者数の増加につながったため																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①R6年度はインバウンド向け観光商品を造成し、OTA掲載とターゲットに向けた情報発信を行った。また、福岡女子読者モニターツアー第3弾を開催し玉名ファン獲得に努めた。 ②今後着地型旅行商品造成のための予算確保が難しくなるため、既存商品の磨き上げや新たな情報発信手法、効果的なイベント開催を検討し取り組んでいく。																																	
担当課の意見		R7から新たな観光商品の造成は予算の点で難しくなるためできる範囲で最大限効果的なPRができるよう既存コンテンツの魅力アップを図っていきたい。また、福岡女子読者モニターツアーも第3弾まで開催しており好評のため、次回以降も引き続き工夫し玉名ファン獲得につなげていきたい。																																	
実績値の推移		<div>着地型旅行商品参加者数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>76人</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>13人</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>603人</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>619人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>758人</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>500人</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	76人		令和3年度	13人		令和4年度	603人		令和5年度	619人		令和6年度	758人		令和7年度			令和8年度		500人	令和9年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	76人																																		
令和3年度	13人																																		
令和4年度	603人																																		
令和5年度	619人																																		
令和6年度	758人																																		
令和7年度																																			
令和8年度		500人																																	
令和9年度																																			

【検証番号】13

施策名	スポーツツーリズムの推進																																		
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
観光物産課		スポーツツーリズム参加者数					1,500人	368人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	0人	299人	730人	1,043人	1,351人																														
達成率	0.0%	19.9%	48.7%	69.5%	90.1%																														
今後の方向性	執行方法の改善	現状のまま継続	現状のまま継続	執行方法の改善	執行方法の改善																														
実績値の前年比増減理由		マラニックとスイーツマラニックを同時開催したことで参加者が増加したため。（前年度より275人の増）																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①ウォーターサバイバルゲーム、ビーチサッカー、トレイルランニングについては継続して開催してきた結果、イベントとして定着し参加者数も例年安定化してきた。マラニックについては、スイーツマラニックを同時開催し、参加者数も増加し、新たなファン層の獲得に成功した。 ②潮湯の指定管理者が海岸全体を活用した取り組みを推進するために「熊本県ビーチスポーツ推進協議会」を設立したことから、更なるビーチスポーツの活性化が期待される。マラニックについても、更なる内容の磨き上げ、満足度を向上させ参加者の増加につなげていく。																																	
担当課の意見		民間団体が主導しているイベントについては、引き続きサポートを行うとともに、市が主催となって実施するイベントも、徐々に民間団体主導の実施方法に移行できるように、連携を図りながらスポーツツーリズムの推進を進めていく。																																	
実績値の推移		<div>スポーツツーリズム参加者数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>0人</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>299人</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>730人</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1,043人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>1,351人</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>1,500人</td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	0人		令和3年度	299人		令和4年度	730人		令和5年度	1,043人		令和6年度	1,351人		令和7年度			令和8年度			令和9年度		1,500人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	0人																																		
令和3年度	299人																																		
令和4年度	730人																																		
令和5年度	1,043人																																		
令和6年度	1,351人																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		1,500人																																	

【検証番号】14

施策名		インバウンド事業の推進																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
観光物産課		外国人宿泊者数					6,500人	2,984人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	685人	161人	738人	3,306人	6,137人																														
達成率	10.5%	2.5%	11.4%	50.9%	94.4%																														
今後の方向性	現状のま継続	現状のま継続	現状のま継続	現状のま継続	現状のま継続																														
実績値の前年比増減理由		インバウンドの誘客につながるイベントの開催に伴い、台湾からの来訪者が増えたため。																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①第一回玉名市国際芸術祭や玉名いだてんマラソン、横島いちごマラソンの開催及びそれらへの出演・出場が特に台湾からの誘客につながった。 ②台湾だけでなく、コロナ禍によって一度途絶えた香港へも誘客を促す取組を行っていく。																																	
担当課の意見		台湾については、令和6年度に委嘱した玉名市魅力発信大使2名と協力しながら、芸術とスポーツの両面から玉名市への誘客につながる事業を推進していく。併せて、コロナ禍前にいちごマラソンへの参加実績のあった香港もターゲットとして誘客促進につなげていく。																																	
実績値の推移		<div>外国人宿泊者数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>685人</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>161人</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>738人</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>3,306人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>6,137人</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>6,500人</td></tr></tbody></table> <div>■ 実績値 ■ 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度	685人		令和3年度	161人		令和4年度	738人		令和5年度	3,306人		令和6年度	6,137人		令和7年度			令和8年度			令和9年度		6,500人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	685人																																		
令和3年度	161人																																		
令和4年度	738人																																		
令和5年度	3,306人																																		
令和6年度	6,137人																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		6,500人																																	

【検証番号】15

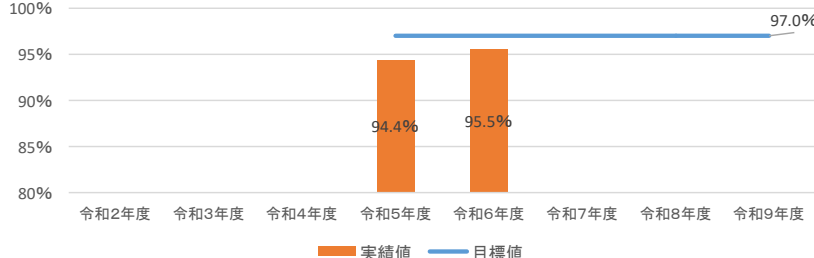
施策名		観光DXの推進																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
観光物産課		(一社)玉名観光協会のHPへのアクセス数 (ページビュー数)					306,000件	280,369件																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値				333,055件	359,674件																														
達成率				108.8%	117.5%																														
今後の方向性				現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		SNS等による積極的な情報発信により徐々に玉名観光協会のHPの認知度が向上しているため。																																	
①令和6年度を取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①WEBやSNSによる観光やイベント情報を発信することにより、アナログによる問い合わせの削減を図っている。 ②観光DXの推進を、引き続き観光客の利便性向上や職員数削減の手段だけでなく、域内での消費拡大に向け機能性を高めていく。																																	
担当課の意見		WEB等による観光案内で人員削減を図るだけでなく、本市を代表するイベントである山田の藤や花しょうぶまつり、玉名大俵まつりについては、まつり会場駐車場が満車になるため、中心部への車乗り入れを事前回避するなどオーバーツーリズム抑制に向けた手段としても活用を促進していく。																																	
実績値の推移		<p>(一社)玉名観光協会のHPへのアクセス数(ページビュー数)</p> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>333,055件</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>359,674件</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>306,000件</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度	333,055件		令和6年度	359,674件		令和7年度			令和8年度		306,000件	令和9年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度																																			
令和3年度																																			
令和4年度																																			
令和5年度	333,055件																																		
令和6年度	359,674件																																		
令和7年度																																			
令和8年度		306,000件																																	
令和9年度																																			

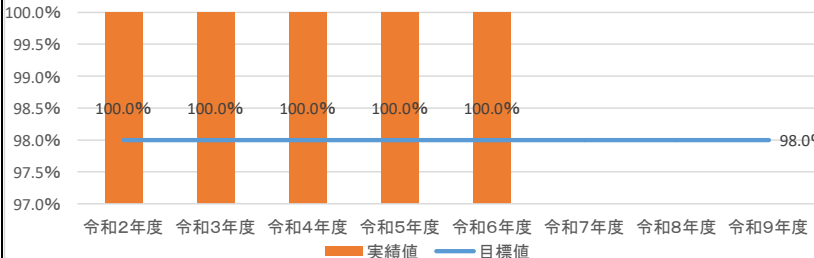
【検証番号】16

施策名		若い世代の結婚希望の実現																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
地域振興課		成婚者数（荒尾・玉名郡市の合計）（累計）					180組	64組																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	85組	96組	101組	109組	117組																														
達成率	47.2%	53.3%	56.1%	60.6%	65.0%																														
今後の方向性	拡充して継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		会員間の成婚数は、令和5年度・令和6年度ともに、8件となった。																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①荒尾・玉名地域結婚サポートセンター「KOIBANA」において、会員に対する各種サポート・お見合い等の実施、婚活イベントの実施、出張登録・相談の実施などに取り組んだ。 ②荒尾・玉名地域結婚サポートセンター「KOIBANA」において、これまでの取り組みをベースとして、より効果的な事業に注力し取り組む。																																	
担当課の意見	婚活イベントにおいては、参加者同士で交際する割合が高くなっている。引き続き、関係機関と連携し、より効果的な事業展開に取り組む。																																		
実績値の推移	<div>成婚者数(荒尾・玉名郡市の合計)(累計)</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>85組</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>96組</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>101組</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>109組</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>117組</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>180組</td></tr></tbody></table>								年度	実績値	目標値	令和2年度	85組		令和3年度	96組		令和4年度	101組		令和5年度	109組		令和6年度	117組		令和7年度			令和8年度			令和9年度		180組
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	85組																																		
令和3年度	96組																																		
令和4年度	101組																																		
令和5年度	109組																																		
令和6年度	117組																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		180組																																	

施策名		若い世代の結婚希望の実現																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
地域振興課		荒尾・玉名地域結婚サポートセンター会員数 (荒尾・玉名郡市の合計)						3,500人	2,446人																										
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	2,703人	2,807人	2,924人	3,084人	3,252人																														
達成率	77.2%	80.2%	83.5%	88.1%	92.9%																														
今後の方向性	拡充して継続	現状のまま継続	現状のまま継続	拡充して継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		出張登録・相談の実施により、新規入会者が増加していると考える。																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①荒尾・玉名地域結婚サポートセンター「KOIBANA」において、会員に対する各種サポート・お見合い等の実施、婚活イベントの実施、出張登録・相談の実施などに取り組んだ。 ②荒尾・玉名地域結婚サポートセンター「KOIBANA」において、これまでの取り組みをベースとして、より効果的な事業に注力し取り組む。																																	
担当課の意見	婚活イベントにおいては、参加者同士で交際する割合が高くなっている。引き続き、関係機関と連携し、より効果的な事業展開に取り組む。																																		
実績値の推移	<div>荒尾・玉名地域結婚サポートセンター会員数 (荒尾・玉名郡市の合計)</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>2,703人</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>2,807人</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>2,924人</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>3,084人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>3,252人</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>3,500人</td></tr></tbody></table>								年度	実績値	目標値	令和2年度	2,703人		令和3年度	2,807人		令和4年度	2,924人		令和5年度	3,084人		令和6年度	3,252人		令和7年度			令和8年度			令和9年度		3,500人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	2,703人																																		
令和3年度	2,807人																																		
令和4年度	2,924人																																		
令和5年度	3,084人																																		
令和6年度	3,252人																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		3,500人																																	

【検証番号】17

施策名		切れ目ない妊娠・出産・育児支援の充実																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
保健予防課		この地域で子育てしたいと思う親の割合						97.0%	94.5%																										
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値				94.4%	95.5%																														
達成率				97.3%	98.5%																														
今後の方向性				現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		実績値微増																																	
①令和 6 年度を取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		・ 令和6年度から産後ケア事業の訪問型を新たに導入し、令和 5 年度と比べて利用延べ件数が 8 倍に増えた。今後も委託医療機関を増やすなど利用しやすい提供体制に努めていきたい。 ・ 令和 6 年度から一般不妊治療費助成において所得制限の廃止や戸籍謄本等の公的書類の提出を廃止して申請者の負担軽減を行ったこともあり、申請件数が 2 倍に増えた。令和 8 年度から県助成の仕組みが変わるため令和 7 年度中に本市における助成体制について決定し市民への周知を行っていく。																																	
担当課の意見		・ この地域で子育てをしたいと思わない、又は、どちらかといえばそう思わないと回答した理由について記載していただく欄を設けた。 ・ 記載内容として、交通の便が悪い、校区内に食料品店がない、子どもの遊び場がない、近所に人がいないので防犯面で心配等記入があった。玉名市の課題としてよく挙がっている内容で、全庁的な取り組みが必要と改めて感じた。																																	
実績値の推移		<div>この地域で子育てしたいと思う親の割合</div>  <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和 2 年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和 3 年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和 4 年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和 5 年度</td><td>94.4%</td><td></td></tr><tr><td>令和 6 年度</td><td>95.5%</td><td></td></tr><tr><td>令和 7 年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和 8 年度</td><td></td><td>97.0%</td></tr><tr><td>令和 9 年度</td><td></td><td></td></tr></table>							年度	実績値	目標値	令和 2 年度			令和 3 年度			令和 4 年度			令和 5 年度	94.4%		令和 6 年度	95.5%		令和 7 年度			令和 8 年度		97.0%	令和 9 年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和 2 年度																																			
令和 3 年度																																			
令和 4 年度																																			
令和 5 年度	94.4%																																		
令和 6 年度	95.5%																																		
令和 7 年度																																			
令和 8 年度		97.0%																																	
令和 9 年度																																			

施策名		切れ目ない妊娠・出産・育児支援の充実																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
保健予防課		乳児家庭訪問指導率					98.0%	97.3%																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値	100%	100%	100%	100%	100%																														
達成率	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%	102.0%																														
今後の方向性	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続																														
実績値の前年比増減理由		実績値変化なし																																	
①令和 6 年度を取組と ②「今後の方向性」を 踏まえたこれからの取組について		こども家庭センター（女性子ども相談室と保健センター）において月に 1 回定例会を開催し、支援が必要な妊婦や家庭について情報共有と役割分担を し対応にあたった。特定妊婦については、妊娠中の家庭訪問を女性子ども相談室と一緒に 行う体制をとったことにより連携が進んだ。今後は女性子ども相談室を中心に関係各課や関係機関と事例検討会等を実施することで協働して対応できる体制が進んでいくと思われる。																																	
担当課の意見		今後も切れ目なく必要な支援が入るよう、子ども家庭センターと協働での体制づくりを強化する。																																	
実績値の推移		<div>乳児家庭訪問指導率</div>  <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和 2 年度</td><td>100.0%</td><td></td></tr><tr><td>令和 3 年度</td><td>100.0%</td><td></td></tr><tr><td>令和 4 年度</td><td>100.0%</td><td></td></tr><tr><td>令和 5 年度</td><td>100.0%</td><td></td></tr><tr><td>令和 6 年度</td><td>100.0%</td><td></td></tr><tr><td>令和 7 年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和 8 年度</td><td></td><td>98.0%</td></tr><tr><td>令和 9 年度</td><td></td><td></td></tr></table>							年度	実績値	目標値	令和 2 年度	100.0%		令和 3 年度	100.0%		令和 4 年度	100.0%		令和 5 年度	100.0%		令和 6 年度	100.0%		令和 7 年度			令和 8 年度		98.0%	令和 9 年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和 2 年度	100.0%																																		
令和 3 年度	100.0%																																		
令和 4 年度	100.0%																																		
令和 5 年度	100.0%																																		
令和 6 年度	100.0%																																		
令和 7 年度																																			
令和 8 年度		98.0%																																	
令和 9 年度																																			

施策名		切れ目ない妊娠・出産・育児支援の充実																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
保健予防課		出産準備給付金・子育て応援給付金の受給割合					100%	100%																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値				100.0%	100.0%																														
達成率				100.0%	100.0%																														
今後の方向性				現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		実績値変化なし																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		出産準備給付金、子育て応援給付金ともに給付対象のすべての方に給付を行うことができた。令和7年度からは法定事業となり制度が変わったが、滞りなく給付ができている。今年度より流産や死産となった方も給付対象となり、この制度について医療機関から案内していただいているが、申請を行った方に対して心のケアとしてカウンセリングに繋げていきたいと考えている。																																	
担当課の意見		・これまで同様、支給対象のすべての方に給付を実施していく。																																	
実績値の推移		<div>出産準備給付金・子育て応援給付金の受給割合</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td></td><td>100%</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td>100%</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td>100%</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>100.0%</td><td>100%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>100.0%</td><td>100%</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td>100%</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>100%</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度		100%	令和3年度		100%	令和4年度		100%	令和5年度	100.0%	100%	令和6年度	100.0%	100%	令和7年度		100%	令和8年度		100%	令和9年度		100%
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度		100%																																	
令和3年度		100%																																	
令和4年度		100%																																	
令和5年度	100.0%	100%																																	
令和6年度	100.0%	100%																																	
令和7年度		100%																																	
令和8年度		100%																																	
令和9年度		100%																																	

【検証番号】18

施策名		子育て支援の充実																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
子育て支援課		保育の待機児童数					0人	25人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	20人	6人	1人	0人	0人																														
達成率	20.0%	76.0%	96.0%	100.0%	100.0%																														
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		少子化に伴う保育所等申込者の減少																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①受入児童数の拡大 ②現状を維持しつつ、施設整備等を実施することにより、待機児童の解消を図る。																																	
担当課の意見		「公立保育所の在り方に関する基本方針」に即した定員の見直しも視野に入れ、待機児童を発生させないために、本市ができる各種の取り組みを今後とも積極的に実施していく。																																	
実績値の推移		<div>保育の待機児童数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>20人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>6人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>1人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>0人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>0人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td>0人</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>0人</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>0人</td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	20人	0人	令和3年度	6人	0人	令和4年度	1人	0人	令和5年度	0人	0人	令和6年度	0人	0人	令和7年度		0人	令和8年度		0人	令和9年度		0人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	20人	0人																																	
令和3年度	6人	0人																																	
令和4年度	1人	0人																																	
令和5年度	0人	0人																																	
令和6年度	0人	0人																																	
令和7年度		0人																																	
令和8年度		0人																																	
令和9年度		0人																																	

施策名		子育て支援の充実																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
子育て支援課		放課後児童クラブの待機児童数					0人	0人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	0人	0人	0人	0人	0人																														
達成率	100%	100%	100%	100%	100%																														
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		増減なし																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①玉水小校区のクラブが定員を上回っていたため、支援単位の増設を行った。 ②少子化及び人口減少の状況を鑑みても、当面の間はクラブの増設は必要ないと思うが、当該事業を安定的に継続する必要があるため、施設の老朽化や小学校の統廃合等により施設整備が必要となる場合は関係課等と協議を行い施設整備等を行う。																																	
担当課の意見		昼間に保護者が家にいない家庭で、小学校に就学している児童の健全な育成や支援に資するため、地域組織として健全育成活動を行う本事業は、時代に即した保護者のニーズを踏まえており、今後も実施していく。																																	
実績値の推移		放課後児童クラブの待機児童数 <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td>0人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>0人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>0人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>0人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>0人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>0人</td></tr></table> <p>— 実績値 — 目標値</p>							年度	実績値	目標値	令和2年度	0人	0人	令和3年度	0人	0人	令和4年度	0人	0人	令和5年度	0人	0人	令和6年度	0人	0人	令和7年度			令和8年度			令和9年度		0人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	0人	0人																																	
令和3年度	0人	0人																																	
令和4年度	0人	0人																																	
令和5年度	0人	0人																																	
令和6年度	0人	0人																																	
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		0人																																	

施策名		子育て支援の充実																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
子育て支援課		ファミリーサポートセンター講習会新規受講者数（累計）					100人	18人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	18人	18人	57人	68人	105人																														
達成率	18.0%	18.0%	57.0%	68.0%	105.0%																														
今後の方向性	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続																														
実績値の前年比増減理由		令和6年度は2回養成講座を開催したため。																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①令和5年度は年1回の開催を行ったが、令和6年度は受講者数の増加を図るため年2回の開催を行った。 ②今後も周知方法等を工夫しながら定住自立圏市町の間で養成講座を実施し、新規協会の確保及びスキルアップを図る。																																	
担当課の意見		事業の熟度向上のため、子育て支援サポーター養成講座を実施し、サービスを提供する協会の確保と会員のスキルアップを図った。地域における市民相互の子育て支援を通じて児童の福祉の向上を図る本事業は、今後も継続して実施していく。																																	
実績値の推移		<p>ファミリーサポートセンター講習会新規受講者数(累計)</p> <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td>18人</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>18人</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>57人</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>68人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>105人</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>100人</td></tr></table> <p>— 実績値 — 目標値</p>							年度	実績値	目標値	令和2年度	18人		令和3年度	18人		令和4年度	57人		令和5年度	68人		令和6年度	105人		令和7年度			令和8年度			令和9年度		100人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	18人																																		
令和3年度	18人																																		
令和4年度	57人																																		
令和5年度	68人																																		
令和6年度	105人																																		
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度		100人																																	

【検証番号】19

施策名		妊娠、出産、子育ての各段階に応じたきめ細やかな対策																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値							基準値																										
子育て支援課		支援が必要な妊産婦、子育て世帯に対する相談支援率					100%	100%																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値				100.0%	100.0%																														
達成率				100.0%	100.0%																														
今後の方向性				現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		実績値変化なし																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①定例会を月1回行い、情報共有や支援の在り方・方向性を話し合いながら支援を進めていった。 母子保健係と女性・子ども相談室でケースの振り返りを行った。 ②母子手帳交付や3歳8か月健診等の際に女性・子ども相談室（こども家庭センター）からも参加し、より一層の連携、協働を行い、継続的な支援を行う。																																	
担当課の意見		両機能の役割を理解し、連携・協働を深め虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた支援の切れ目のない対応など、支援体制を図っていく。																																	
実績値の推移		<div>支援が必要な妊産婦、子育て世帯に対する相談支援率</div> <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>100.0%</td></tr></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度		100.0%	令和3年度		100.0%	令和4年度		100.0%	令和5年度	100.0%	100.0%	令和6年度	100.0%	100.0%	令和7年度		100.0%	令和8年度		100.0%	令和9年度		100.0%
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度		100.0%																																	
令和3年度		100.0%																																	
令和4年度		100.0%																																	
令和5年度	100.0%	100.0%																																	
令和6年度	100.0%	100.0%																																	
令和7年度		100.0%																																	
令和8年度		100.0%																																	
令和9年度		100.0%																																	

【検証番号】20

施策名		特色ある学校づくりの推進																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
教育総務課		学校生活が楽しいと答えた児童・生徒の割合						100%	93.5%																										
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値	94.0%	94.0%	94.0%	94.0%	92.2%																														
達成率	94.0%	94.0%	94.0%	94.0%	92.2%																														
今後の方向性	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続																														
実績値の前年比増減理由		若干数値的には下がったが、例年並みの実績となった。																																	
①令和 6 年度の取組と ②「今後の方向性」を 踏まえたこれからの取組について		いじめを許さない学校・学級の支持的風土の形成や、児童生徒が主体となって創り出す学校行事、個別最適な学びと能動的な学びを取り入れた授業改善などを各学校が児童生徒の実態に応じた実践に取り組んだ。																																	
担当課 の意見		小学校、中学校ともに、熊本県の数値を上回っている。各小・中学校が児童生徒が安心して過ごすことができる環境づくりを進めてきた成果だと考える。今後も児童生徒に寄り添った指導を継続して心がけることが大切である。																																	
実績値 の推移		<div>学校生活が楽しいと答えた児童・生徒の割合</div> <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td>94.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>94.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>94.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>94.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>92.2%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>100.0%</td></tr></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度	94.0%	100.0%	令和3年度	94.0%	100.0%	令和4年度	94.0%	100.0%	令和5年度	94.0%	100.0%	令和6年度	92.2%	100.0%	令和7年度		100.0%	令和8年度		100.0%	令和9年度		100.0%
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	94.0%	100.0%																																	
令和3年度	94.0%	100.0%																																	
令和4年度	94.0%	100.0%																																	
令和5年度	94.0%	100.0%																																	
令和6年度	92.2%	100.0%																																	
令和7年度		100.0%																																	
令和8年度		100.0%																																	
令和9年度		100.0%																																	

【検証番号】21

施策名		公共交通の利便性の向上																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
地域振興課		公共交通不便地域の解消率					100%	28.6%																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値	57.1%	57.1%	71.4%	100.0%	100.0%																														
達成率	57.1%	57.1%	71.4%	100.0%	100.0%																														
今後の方向性	執行方法の改善	執行方法の改善	執行方法の改善	執行方法の改善	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		R6年度目標を達成し、継続して事業を実施している。																																	
①令和 6 年度を取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		前年から引き続き各エリアを運行している。 R6.4月から各エリアの運行便数・時間を統一し、利便性の向上を図った。 また、R6.10月から、利用の多い時間の便を増台した。 今後は、各地域の乗合タクシーの利用促進を図り、利用状況によって便の見直しを検討する。																																	
担当課の意見		H30年度末に①豊水②睦合③小田④梅林⑤玉名・月瀬・石貫・三ツ川⑥天水⑦玉南の7地域を公共交通不便地域とし、R1年度末に2地域、R2年度末に2地域を解消している。R3年度はR2年度のまま継続であるがR4年度から⑤の地域を解消しており、R5年度には⑥⑦を解消し、全ての公共交通不便地域を解消した。 今後は、各地域の乗合タクシーの利用促進を図り、利用状況によって便の見直しを検討する。																																	
実績値の推移		<p>公共交通不便地域の解消率</p> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和 2 年度</td><td>57.1%</td><td></td></tr><tr><td>令和 3 年度</td><td>57.1%</td><td></td></tr><tr><td>令和 4 年度</td><td>71.4%</td><td></td></tr><tr><td>令和 5 年度</td><td>100.0%</td><td></td></tr><tr><td>令和 6 年度</td><td>100.0%</td><td></td></tr><tr><td>令和 7 年度</td><td></td><td>100%</td></tr><tr><td>令和 8 年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和 9 年度</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>■ 実績値 — 目標値</p>							年度	実績値 (%)	目標値 (%)	令和 2 年度	57.1%		令和 3 年度	57.1%		令和 4 年度	71.4%		令和 5 年度	100.0%		令和 6 年度	100.0%		令和 7 年度		100%	令和 8 年度			令和 9 年度		
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																																	
令和 2 年度	57.1%																																		
令和 3 年度	57.1%																																		
令和 4 年度	71.4%																																		
令和 5 年度	100.0%																																		
令和 6 年度	100.0%																																		
令和 7 年度		100%																																	
令和 8 年度																																			
令和 9 年度																																			

【検証番号】22

施策名		健康・福祉の充実																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
保健予防課		検診受診率（大腸）					30.0%	10.0%																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値	8.4%	9.2%	9.9%	10.0%	10.7%																														
達成率	28.0%	30.7%	33.0%	33.3%	35.7%																														
今後の方向性	執行方法の改善	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		前年度受診した人は継続受診される傾向にある。受診率増の理由として、毎年の周知を継続した結果が実績値上昇の一因と考えられる。																																	
①令和 6 年度を取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①・受診申し込みを4月と10月に実施、10月は2次元コードを使用した申し込みを実施した。 ・受診者が検診を受けやすいように、集団検診と併せて実施した。 ・検査キットを郵送で提出し、電子決済、コンビニや郵便局で料金を支払える郵送検診も継続して実施した。 ②・4月の受診申し込み時点で従来の紙媒体のほか公式LINEを活用した申し込みを導入する。																																	
担当課の意見		受診申し込み方法の多様化に対応するため、ニーズに沿いできる限りデジタル化を進めてく。また、広報及びホームページに加えて公式LINEを活用した情報発信を行う等、市民への周知を充実させていく。																																	
実績値の推移		<div>検診受診率（大腸）</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>8.4%</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>9.2%</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>9.9%</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>10.0%</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>10.7%</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td>30.0%</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	8.4%		令和3年度	9.2%		令和4年度	9.9%		令和5年度	10.0%		令和6年度	10.7%		令和7年度		30.0%	令和8年度			令和9年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	8.4%																																		
令和3年度	9.2%																																		
令和4年度	9.9%																																		
令和5年度	10.0%																																		
令和6年度	10.7%																																		
令和7年度		30.0%																																	
令和8年度																																			
令和9年度																																			

施策名		健康・福祉の充実																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
総合福祉課		玉名市自殺者数					0人	15人																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値	6人	12人	16人	11人	8人																														
達成率	60.0%	20.0%	0.0%	26.7%	46.7%																														
今後の方向性	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続																														
実績値の前年比増減理由		LINEによる相談事業等、気軽に相談ができる機会が拡充していることが考えられる。経年推移で分析していくことが重要である。今後の動向に注視していきたい。																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		対面相談支援事業、普及啓発活動、障がい者虐待防止と養護者に対する支援、障害福祉サービスに関する相談対応等を実施した。																																	
担当課の意見		対面相談支援事業については、昨年同規模にて開催を継続する。啓発事業についても昨年同様、広報・HP等に注力する。																																	
実績値の推移		<div>玉名市自殺者数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>6人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>12人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>16人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>11人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>8人</td><td>0人</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td>0人</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>0人</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>0人</td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	6人	0人	令和3年度	12人	0人	令和4年度	16人	0人	令和5年度	11人	0人	令和6年度	8人	0人	令和7年度		0人	令和8年度		0人	令和9年度		0人
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	6人	0人																																	
令和3年度	12人	0人																																	
令和4年度	16人	0人																																	
令和5年度	11人	0人																																	
令和6年度	8人	0人																																	
令和7年度		0人																																	
令和8年度		0人																																	
令和9年度		0人																																	

施策名		健康・福祉の充実																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
高齢介護課		高齢者向けスマートフォン講座やパソコン スキル向上のための講座の開催回数					10回	10回																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値				11回	9回																														
達成率				110.0%	90.0%																														
今後の 方向性				現状のま ま継続	現状のま ま継続																														
実績値の前年比増減理由		スマホ講座の減																																	
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を 踏まえたこれからの取 組について		①高齢者の就労や福祉の充実に資することを目的に、PC等のスキル向上を目的とした講座の実施 ・高齢者向けスマホ関連講座（ライン講座）2回 ・PCスキル向上を目的とした講座7回 ②高齢者の就労や福祉の充実に繋がるよう技術習得のための講座やPC・スマホのスキル向上に取り組むとともに、受講者アンケートを参考に開催時間についても考慮していく。																																	
担当課 の意見		高齢者自身がPC等のスキルが上がることで、地域における役割も増え、高齢者の社会参加の機会が増えるなど、今後も引き続き、高齢者の就労支援やPC技術習得は勿論のこと、高齢者の健やかな生活、いきがいのある充実した生活に繋がるよう取り組んでいく。																																	
実績値 の推移		<div>高齢者向けスマートフォン講座やパソコン スキル向上のための講座の開催回数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>0回</td><td>10回</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>0回</td><td>10回</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>0回</td><td>10回</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>11回</td><td>10回</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>9回</td><td>10回</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td>10回</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>10回</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>10回</td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	0回	10回	令和3年度	0回	10回	令和4年度	0回	10回	令和5年度	11回	10回	令和6年度	9回	10回	令和7年度		10回	令和8年度		10回	令和9年度		10回
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	0回	10回																																	
令和3年度	0回	10回																																	
令和4年度	0回	10回																																	
令和5年度	11回	10回																																	
令和6年度	9回	10回																																	
令和7年度		10回																																	
令和8年度		10回																																	
令和9年度		10回																																	

【検証番号】23

施策名		防災体制の強化																								
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																		
防災安全課		「玉名市安心メール」登録者数					10,000人	6,031人																		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																		
実績値	7,477人	8,731人	6,893人	6,984人	6,922人																					
達成率	74.8%	87.3%	68.9%	69.8%	69.2%																					
今後の方向性	拡充して継続	拡充して継続	拡充して継続	拡充して継続	拡充して継続																					
実績値の前年比増減理由		情報取得手段の変化																								
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①広報誌等へ継続した掲載。避難所等の公共施設へQRコードの掲示。 ②災害情報の発信手段として今後も拡充して継続して行く。																								
担当課の意見		スマートフォンの普及によりメールアプリを使用する安心メールの登録者は横ばいの状態であるのに対して、安心メールと同様に防災情報等を発信する公式ラインの登録者数は17,000人を超える。今後は市発信の防災情報は一本化することも視野に入れる必要がある。																								
実績値の推移		<p>「玉名市安心メール」登録者数</p> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>7,477人</td><td>10,000人</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>8,731人</td><td>10,000人</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>6,893人</td><td>10,000人</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>6,984人</td><td>10,000人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>6,922人</td><td>10,000人</td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	7,477人	10,000人	令和3年度	8,731人	10,000人	令和4年度	6,893人	10,000人	令和5年度	6,984人	10,000人	令和6年度	6,922人	10,000人
年度	実績値	目標値																								
令和2年度	7,477人	10,000人																								
令和3年度	8,731人	10,000人																								
令和4年度	6,893人	10,000人																								
令和5年度	6,984人	10,000人																								
令和6年度	6,922人	10,000人																								

施策名		防災体制の強化																								
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																		
防災安全課		自主防災組織結成率（258行政区）					100%	80.12%																		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																		
実績値	81.0%	82.4%	83.2%	83.2%	83.2%																					
達成率	81.0%	82.4%	83.2%	83.2%	83.2%																					
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	拡充して継続	拡充して継続	拡充して継続																					
実績値の前年比増減理由		未結成行政区の世帯的事情等																								
①令和 6 年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①防災講話を行った行政区や地区防災計画作成会等での結成推奨。 ②防災官を活用し未結成行政区への結成推奨。																								
担当課の意見		地域防災マネージャーの資格を有する防災官を令和7年4月から任用した。今まで停滞していた自主防災組織の活動を活性化させ、地域防災力の強化を図る。																								
実績値の推移		<p>自主防災組織結成率(258行政区)</p> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>81.0%</td><td>100%</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>82.4%</td><td>100%</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>83.2%</td><td>100%</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>83.2%</td><td>100%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>83.2%</td><td>100%</td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	81.0%	100%	令和3年度	82.4%	100%	令和4年度	83.2%	100%	令和5年度	83.2%	100%	令和6年度	83.2%	100%
年度	実績値	目標値																								
令和2年度	81.0%	100%																								
令和3年度	82.4%	100%																								
令和4年度	83.2%	100%																								
令和5年度	83.2%	100%																								
令和6年度	83.2%	100%																								

【検証番号】24

施策名		安全なまちづくり																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値							基準値																										
防災安全課		防犯灯のLED設置灯数（基）						6,400 基	3,604 基																										
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値	5,003 基	5,392 基	5,729 基	5,902 基	6,020 基																														
達成率	78.2%	84.3%	89.5%	92.2%	94.1%																														
今後の方向性	縮小して継続	現状のまま継続	縮小して継続	縮小して継続	縮小して継続																														
実績値の前年比増減理由		区で設置や建替を行ったLEDが増加したため																																	
①令和 6 年度を取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①防犯灯の設置や建替、修繕に対して補助金の交付を行った。 ②補助金の交付を継続して行う。																																	
担当課の意見		補助金により区の費用負担が大幅に減るためLEDの設置促進が図られているが、主要な生活道路等は防犯灯の設置がすでに済んでいるところが多いため、新規設置は減少している。今後はLED化されていない防犯灯のLED化を促進する。																																	
実績値の推移		<div>防犯灯のLED設置灯数(基)</div> <table><tr><th>年度</th><th>実績値 (基)</th><th>目標値 (基)</th></tr><tr><td>令和 2 年度</td><td>5,003</td><td></td></tr><tr><td>令和 3 年度</td><td>5,392</td><td></td></tr><tr><td>令和 4 年度</td><td>5,729</td><td></td></tr><tr><td>令和 5 年度</td><td>5,902</td><td></td></tr><tr><td>令和 6 年度</td><td>6,020</td><td></td></tr><tr><td>令和 7 年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和 8 年度</td><td></td><td>6,400</td></tr><tr><td>令和 9 年度</td><td></td><td></td></tr></table>							年度	実績値 (基)	目標値 (基)	令和 2 年度	5,003		令和 3 年度	5,392		令和 4 年度	5,729		令和 5 年度	5,902		令和 6 年度	6,020		令和 7 年度			令和 8 年度		6,400	令和 9 年度		
年度	実績値 (基)	目標値 (基)																																	
令和 2 年度	5,003																																		
令和 3 年度	5,392																																		
令和 4 年度	5,729																																		
令和 5 年度	5,902																																		
令和 6 年度	6,020																																		
令和 7 年度																																			
令和 8 年度		6,400																																	
令和 9 年度																																			

施策名		安全なまちづくり																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値							基準値																										
防災安全課		防犯カメラの設置台数（基）					120 基	20 基																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値		20 基	39 基	55 基	66 基																														
達成率		16.7%	32.5%	45.8%	55.0%																														
今後の方向性		現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		区で設置した防犯カメラが増加したため																																	
①令和 6 年度を取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①防犯カメラの設置に対して補助金の交付を行った。 ②補助金の交付を継続して行う。																																	
担当課の意見		犯罪や非行のない安全で住みよい地域社会を実現するため、行政区等に防犯カメラ設置意向調査を行い、継続して補助金の交付を行う。 行政区からは、設置後の維持管理（カメラの電気料補助金新設要望）もあっているが、設置基数が少なく一部の利益にしかならない（補助金の公益性が担保できない）ため現状新設しないとお伝えしている。																																	
実績値の推移		<div>防犯カメラの設置台数(基)</div> <table><tr><th>年度</th><th>実績値 (基)</th><th>目標値 (基)</th></tr><tr><td>令和 2 年度</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>令和 3 年度</td><td>20</td><td></td></tr><tr><td>令和 4 年度</td><td>39</td><td></td></tr><tr><td>令和 5 年度</td><td>55</td><td></td></tr><tr><td>令和 6 年度</td><td>66</td><td></td></tr><tr><td>令和 7 年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和 8 年度</td><td></td><td>120</td></tr><tr><td>令和 9 年度</td><td></td><td></td></tr></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値 (基)	目標値 (基)	令和 2 年度	0		令和 3 年度	20		令和 4 年度	39		令和 5 年度	55		令和 6 年度	66		令和 7 年度			令和 8 年度		120	令和 9 年度		
年度	実績値 (基)	目標値 (基)																																	
令和 2 年度	0																																		
令和 3 年度	20																																		
令和 4 年度	39																																		
令和 5 年度	55																																		
令和 6 年度	66																																		
令和 7 年度																																			
令和 8 年度		120																																	
令和 9 年度																																			

【検証番号】25

施策名		豊かな自然と環境保全						
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値
環境整備課		一般廃棄物処理量						14,500 t
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績値	17,441 t	16,949 t	16,989 t	16,383 t	15,939 t			
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	5.2%			
今後の方向性	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続			
実績値の前年比増減理由		処理量は減少しているものの横ばいの範囲と考える。						
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を 踏まえたこれからの取組について		①ごみ出しカレンダー等を配布することで、ごみの分別による減量化の啓発を行った。 ②継続して一般廃棄物処理実施計画に基づき廃棄物収集業者と連携し、ごみ分別による減量化を啓発し指導を徹底するとともに適正処理を行う。						
担当課の意見		一般廃棄物処理実施計画に基づき、廃棄物収集業者等と連携し、分別と減量化を啓発し指導を徹底するとともに、適正処理を行うことが重要である。また、不法投棄の巡回指導を行うことで、発生の抑止に努めるとともに、土地管理者に対する適正管理の啓発を継続して行う。						
実績値の推移		<p>一般廃棄物処理量</p> <p>令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度</p> <p>実績値 目標値</p>						

【検証番号】26

施策名		協働によるまちづくり						
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値
企画経営課		高校・大学との連携及び協力実績件数						100件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績値	58件	67件	77件	88件	98件			
達成率	58.0%	67.0%	77.0%	88.0%	98.0%			
今後の方向性	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続			
実績値の前年比増減理由		近年のコロナ禍からの改善があり、イベント開催時の協力や実習の受入れ等が増加したため。						
①令和6年度の取組と ②「今後の方向性」を 踏まえたこれからの取組について		①各種審議会に専門的な見識を持つ大学からの委員派遣を積極的に依頼するとともに、市民講座等への講師派遣や学生の実習受け入れなどを行い、積極的な官学連携に取り組んだ。 ②大学との連携のみならず、市内にある高校5校とも連携を強化することで、将来を担う学生のまちづくりへの参加意識の向上を図る。						
担当課の意見		審議会委員等に専門的な見識を持つ人材を大学から派遣、参加してもらうことで、審議内容の深化が図られている。幅広い知識を持つ大学教員が計画等に参画することで、的確な計画書等の作成が図られている。 また、イベント開催時の講師派遣や学生の協力、実習の受入れ等については例年通り連携して実施できた。 今後も引き続き大学・高校との連携を積極的に行い、若者がまちづくりに参画することで将来の地域を担う人材の育成を図り、持続可能な地域社会の実現を目指す。						
実績値の推移		<p>高校・大学との連携及び協力実績件数</p> <p>令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度</p> <p>実績値 目標値</p>						

【検証番号】27

施策名		コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進						
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値
都市整備課		グランドデザイン（全体構想）の策定					策定	—
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績値				未策定	策定			
達成率				—	—			
今後の方向性				拡充して継続	拡充して継続			
実績値の前年比増減理由		民間による「玉名市まちなかプラットフォーム」を立ち上げ、官民協働により「～玉名まちなかグランドデザイン～まちなか未来図」を策定した。						
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①民間による「玉名市まちなかプラットフォーム」を構築し、玉名市まちなか未来デザイン協議会及びまちなか魅力向上委員会、各種ワークショップ等民間との対話を経て、「～玉名市まちなかグランドデザイン～まちなか未来図」を策定した。 ②「まちなか未来図」に描いたまちなかの将来像の実現に向けて、具体的な施策・取組やそれを行う上での役割分担、事業優先順位などを示す実行計画である「アクションプログラム」を策定する。						
担当課の意見		本取組は、玉名市立地適正化計画と連動した取組で、都市機能誘導区域を含める旧中心市街地を中心としたエリアを「まちなか区域」と定め、区域内のにぎわい創出と人口集積を目的に着手した。 令和5年度に～令和6年度にかけて、民間の「まちなかプラットフォーム」を立ち上げ、密な協議を行い、官民連携による「～玉名市まちなかグランドデザイン～まちなか未来図」を策定した。 これから、アクションプログラムの策定に向けて進めていくが、これからのまちづくりは、行政だけでは立ち行かない。やりたいことを実現し、チャレンジできる空間を創出することで、市民のまちづくりに対する機運を醸成していきたい。市民や事業者・企業と様々な場面に応じて対話を重ね、玉名市にとって本当に必要なものを見極め、お金や事業が循環していく仕組みを、公民連携で取り組んでいくことが必要である。						
実績値の推移								

【検証番号】28

施策名		まちづくりDX の推進																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
都市整備課		地域課題解決のためのユースケース開発事業数（累計）					4件	1件																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値				2件	3件																														
達成率				50.0%	75.0%																														
今後の方向性				拡充して継続	拡充して継続																														
実績値の前年比増減理由		R6年度要望が1件であったため。																																	
①令和 6 年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①「たまなメタバース」をリリースした。高瀬裏川水際緑地、菊池川河川敷及び高瀬船着き場等の名所を再現し、花しょうぶ祭りや花火大会等を仮想体験できる。GPSを活用した「玉名かるたNFT」も開発し、メタバース空間内での活動や現地訪問でNFTを獲得可能とした。令和6年11月末にリリースして、空間内の訪問者数延べ9,800人(令和7年3月31日時点)であった。 ②目標を達成することはできた。今後もユースケースを開発事業を踏まえ、地域課題解決を検討できる環境を整える。具体的は庁内横断的な取組の実施や市民へのワークショップ等を行っていく。																																	
担当課の意見		これまで、3D都市モデルを活用したユースケース開発を行い、実証してきた。これからは実証から「都市デジタルツインにより社会に新たな価値をもたらす/地域の課題を解決する」ための実装へと引き続き取り組んでいく必要がある。R7年度は昨年度土木課で取得した本市全域の点群データを活用し、3D都市モデルと重ね合わせ、本市のインフラデータと連携させること、インフラ管理システム構築を目指す。 これに加え、関係部署と連携し、これまでに開発したユースケースの利活用を推進していく。																																	
実績値の推移		<div>地域課題解決のためのユースケース開発事業数(累計)</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>2</td><td>0</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>3</td><td>0</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td>3</td><td>4</td></tr></tbody></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度	0	0	令和3年度	0	0	令和4年度	0	0	令和5年度	2	0	令和6年度	3	0	令和7年度	3	4	令和8年度	3	4	令和9年度	3	4
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	0	0																																	
令和3年度	0	0																																	
令和4年度	0	0																																	
令和5年度	2	0																																	
令和6年度	3	0																																	
令和7年度	3	4																																	
令和8年度	3	4																																	
令和9年度	3	4																																	

【検証番号】29

施策名		学校教育の充実																																	
担当課		成果指標と8年後の目標値						基準値																											
教育総務課		市内小中学校において、学習用タブレットを持ち帰っての家庭学習を行った1週間の平均日数					5日	3日																											
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
実績値				1.31日	1.67日																														
達成率				26.2%	33.4%																														
今後の方向性				拡充して継続	拡充して継続																														
実績値の前年比増減理由		小学校用のAIドリルを本格導入し、持ち帰り学習の推進を図った。																																	
①令和6年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①校長会や情報担当者会議において、授業でのタブレット活用例の紹介や、持ち帰り学習の推進を図った。また、小学校においては、AIドリルソフトを本格導入し、授業での活用を中心に持ち帰り学習にもつなげていく取り組みを図ってきた。 ②今年度中にすべての小中学校へディスプレイ型電子黒板を導入することに伴い、指導者用のデジタル教科書、AIドリルソフト、授業支援ソフトとの連携を更に強固なものとし、更なる持ち帰り学習の推進を図っていく。																																	
担当課の意見		前年度と比較し、実績値は上昇しているが、学校ごとに持ち帰り日数にばらつきがある状況であるため、引き続き校長会や情報担当者会議において、授業でのタブレット活用例の紹介や持ち帰り学習の推進を図っていきたい。 また、今年度のディスプレイ型電子黒板の整備や学習者用のタブレット端末の更改を踏まえ、令和9年度の毎日の持ち帰りの実現に向けて、1つ1つ段階的に課題解決を図る取り組みを実施し、持ち帰りの頻度を向上させていきたい。																																	
実績値の推移		<div>市内小中学校において、学習用タブレットを持ち帰っての家庭学習を行った1週間の平均日数</div> <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td></td><td>5日</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td>5日</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td>5日</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1.31日</td><td>5日</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>1.67日</td><td>5日</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td>5日</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>5日</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>5日</td></tr></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度		5日	令和3年度		5日	令和4年度		5日	令和5年度	1.31日	5日	令和6年度	1.67日	5日	令和7年度		5日	令和8年度		5日	令和9年度		5日
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度		5日																																	
令和3年度		5日																																	
令和4年度		5日																																	
令和5年度	1.31日	5日																																	
令和6年度	1.67日	5日																																	
令和7年度		5日																																	
令和8年度		5日																																	
令和9年度		5日																																	

【検証番号】30

施策名		生涯学習の充実																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
コミュニティ推進課		電子図書館の閲覧数						33,900件	32,690件																										
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値					25,036件																														
達成率					73.9%																														
今後の方向性					現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		改訂に伴う新規成果指標のため令和 6 年度が初回計上値。																																	
①令和 6 年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①・新入生などの図書館利用カード未所持者に、学校と連携しカードの作成を行った ・広報たまにも、電子図書館の紹介を掲載 ②・学生の利用が多いため、児童書やヤングアダルト層の選書にも力を入れる ・読み放題コンテンツについては学校利用に最適のため引き続き実施する ・一般の認知度が低いため、チラシによる紹介も行っている																																	
担当課の意見		通常の図書館が利用しにくい層（図書館までが遠い交通弱者や学生、障がい者、子育て中の方等）も利用できる図書館として電子図書館は有用であり、オーディオブックや動く絵本など、通常図書ではできないサービスは魅力的である。 選書については、利用者のニーズにあった選書を行い、既存の利用者を満足させつつも新規利用者を増やしていく必要がある。																																	
実績値の推移		<div>電子図書館の閲覧数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td></td><td>33,900件</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td>33,900件</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td>33,900件</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td></td><td>33,900件</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>25,036件</td><td>33,900件</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td>33,900件</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>33,900件</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td>33,900件</td></tr></tbody></table> <div>■ 実績値 ■ 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度		33,900件	令和3年度		33,900件	令和4年度		33,900件	令和5年度		33,900件	令和6年度	25,036件	33,900件	令和7年度		33,900件	令和8年度		33,900件	令和9年度		33,900件
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度		33,900件																																	
令和3年度		33,900件																																	
令和4年度		33,900件																																	
令和5年度		33,900件																																	
令和6年度	25,036件	33,900件																																	
令和7年度		33,900件																																	
令和8年度		33,900件																																	
令和9年度		33,900件																																	

施策名		生涯学習の充実																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
コミュニティ推進課		スマートフォン関連講座の開催回数					12 回	11 回																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値				11 回	9 回																														
達成率				91.7%	75.0%																														
今後の方向性				拡充して継続	執行方法の改善																														
実績値の前年比増減理由		開催回数の減少によるもの（参加者不足により13回中9回のみ実施）																																	
①令和 6 年度の実績と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①令和 6 年度の実績 令和 6 年度企画数：13 講座 実際の開催数：9 講座 未開催の要因：参加者不足による中止 ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組 令和 6 年度と同等の講座を企画し、さらに参加しやすい日時設定及び内容設定により、参加者の増大を目指す。																																	
担当課の意見		講座企画数は十分であったものの、人数不足（講師：ソフトバンク規約による最低人数制限など）により開催が叶わなかったため、前年度より達成率が低下している。 令和6年度もチラシ等の広告媒体は制作していたが、令和7年度は学習内容を明記するなどの工夫を加え、多くの市民に興味を持ってもらえるような講座づくりを目指す。																																	
実績値の推移		<div>スマートフォン関連講座の開催回数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>11 回</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>9 回</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>12 回</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度	11 回		令和6年度	9 回		令和7年度			令和8年度		12 回	令和9年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度																																			
令和3年度																																			
令和4年度																																			
令和5年度	11 回																																		
令和6年度	9 回																																		
令和7年度																																			
令和8年度		12 回																																	
令和9年度																																			

【検証番号】31

施策名		人材育成・協働のまちづくりの推進																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
地域振興課		地域づくりを学ぶためのワークショップの開催回数（累計）					8 回	0回																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回																														
達成率	12.5%	25.0%	37.5%	50.0%	62.5%																														
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	執行方法の改善																														
実績値の前年比増減理由		実績報告会を1回開催																																	
①令和 6 年度の取組と②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		笑顔のまちづくり応援事業補助金採択団体及び今後まちづくり活動を考えている団体又は個人向けに事業報告会を行った。本報告会においては、団体の事業報告のみならず、令和 6 年度は和歌山県田辺市から講師を招いて今後のまちづくり活動に関する講義を実施し、まちづくりに対する意欲増進と、知見を深める機会を図った。																																	
担当課の意見		笑顔のまちづくり応援事業補助金の採択団体には、事業報告会での発表を依頼していたが、参加は少なくかつ参加者が固定化している。各団体は共通して会員の高齢化や担い手不足を課題としているため、これまで講師を招いて講義を行ってきたが、実践できている団体は少ない。また、今後まちづくり活動を考えている団体又は個人に対しては玉名市公式LINEや広報を活用してこれまで周知を図ってきたが、参加は皆無であるため、令和7年度は執行方法の改善や休止を検討する。																																	
実績値の推移		<div>地域づくりを学ぶためのワークショップの開催回数(累計)</div> <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td>1 回</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>2 回</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>3 回</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>4 回</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>5 回</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td>8 回</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></table> <div>■ 実績値 ■ 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度	1 回		令和3年度	2 回		令和4年度	3 回		令和5年度	4 回		令和6年度	5 回		令和7年度			令和8年度		8 回	令和9年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	1 回																																		
令和3年度	2 回																																		
令和4年度	3 回																																		
令和5年度	4 回																																		
令和6年度	5 回																																		
令和7年度																																			
令和8年度		8 回																																	
令和9年度																																			

施策名		人材育成・協働のまちづくりの推進																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
人権啓発課		男女共同参画関連事業数					5件	4件																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値				4件	3件																														
達成率				80.0%	60.0%																														
今後の方向性				現状のまま継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		R6年度は男女共同参画フォーラムの開催がなかったため（2年に 1 度開催）																																	
①令和 6 年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①啓発講座の開催を 2 回実施する。 実際起業した方を講師にし、啓発講座の際に、起業した経緯等を話してもらい、今後の働き方や仕事の選択肢を考える機会を提供することができた。 ②今後も啓発講座や男女共同参画フォーラム等を通して情報提供を行っていき、女性の社会参画、性別にかかわらず能力を十分に発揮できる環境づくりに向けて取り組んでいく。																																	
担当課の意見		R6年度は男女共同参画フォーラム（隔年開催）の開催年ではなかったため、実績値が1件減少となった。今後は講座やフォーラム等を通して女性の社会参画を拡大し、仕事や地域社会等様々な場面で女性活躍の機会の創出を図り、男女共同参画社会を推進する。 R7年度は在宅ワークや副業など働き方が多様化する一方であるが、自分に合った働き方が分からなかったり、何から始めていいか不安に思っている女性のために女性応援セミナーの開催を予定している。																																	
実績値の推移		<div>男女共同参画関連事業数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>4件</td><td>5件</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>3件</td><td>5件</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <div>実績値 目標値</div>							年度	実績値	目標値	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度	4件	5件	令和6年度	3件	5件	令和7年度			令和8年度			令和9年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度																																			
令和3年度																																			
令和4年度																																			
令和5年度	4件	5件																																	
令和6年度	3件	5件																																	
令和7年度																																			
令和8年度																																			
令和9年度																																			

【検証番号】32

施策名		若者が住みたいまちをつくる																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
地域振興課		アイデアソンなどの開催回数（累計）					5 回	0回																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値	1 回	2 回	4 回	6 回	8 回																														
達成率	20.0%	40.0%	80.0%	120.0%	160.0%																														
今後の方向性	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	現状のま ま継続	執行方法 の改善																														
実績値の前年比増減理由		玉名未来づくり研究所及び市内高校合同進学フェアを実施したため。																																	
①令和 6 年度の取組と ②「今後の方向性」を 踏まえたこれからの取組について		①玉名未来づくり研究所(全7回)、市内高校合同進学フェア（市内5校+有明高専・1回）を実施した。 ②令和7年度から 2 年間、熊本県の高校魅力化コンソーシアムモデル構築支援事業に、高校と協働して実施していくため、今後は事業の内容を含め高校と調整していく予定である。																																	
担当課の意見		市内高校合同説明会は、来場者にとっては一度にいくつもの学校の内容を知ることができる、高校側としては、多くの来場者にPRできるという、高校、来場者の双方にメリットがあるので継続できる実施体制をつくる。 また、玉名未来づくり研究所の取り組みは、若い世代からまちづくり活動に携わり、地域と関わりを持つことで、課題解決の力を育み、地域への愛着や将来玉名に戻ってきたいと思う人材の育成につながるものとしたい。																																	
実績値の推移		<div>アイデアソンなどの開催回数(累計)</div> <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>令和2年度</td><td>1回</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>2回</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>4回</td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>6回</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>8回</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td>5回</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	1回		令和3年度	2回		令和4年度	4回		令和5年度	6回		令和6年度	8回		令和7年度		5回	令和8年度			令和9年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	1回																																		
令和3年度	2回																																		
令和4年度	4回																																		
令和5年度	6回																																		
令和6年度	8回																																		
令和7年度		5回																																	
令和8年度																																			
令和9年度																																			

施策名		若者が住みたいまちをつくる																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
地域振興課		アイデアの提案数					10本	4本																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値					7本																														
達成率					70.0%																														
今後の方向性					執行方法の改善																														
実績値の前年比増減理由		令和 5 年度改訂に伴う新規成果指標で、令和 6 年度より事業本格実施のため初回計上値。																																	
①令和 6 年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		① 1 2 月に玉名市高校大学合同発表会を実施し、その中で未来づくり研究所での成果など計7本のアイデアを発表した。 ②令和7年度から 2 年間、熊本県の高校魅力化コンソーシアムモデル構築支援事業に、高校と協働して実施していくため、今後は事業の内容を含め高校と調整していく予定である。																																	
担当課の意見		市内高校合同説明会は、来場者にとっては一度にいくつかの学校の内容を知ることができる、高校側としては、多くの来場者にPRできるという、高校、来場者の双方にメリットがあるので継続できる実施体制をつくる。 また、玉名未来づくり研究所の取り組みは、若い世代からまちづくり活動に携わり、地域と関わりを持つことで、課題解決の力を育み、地域への愛着や将来玉名に戻ってきたいと思う人材の育成につながるものとしたい。																																	
実績値の推移		<div>アイデアの提案数</div> <div><table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和 2 年度</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>令和 3 年度</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>令和 4 年度</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>令和 5 年度</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>令和 6 年度</td><td>7</td><td>10</td></tr><tr><td>令和 7 年度</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>令和 8 年度</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td>令和 9 年度</td><td>0</td><td>10</td></tr></tbody></table></div>							年度	実績値	目標値	令和 2 年度	0	10	令和 3 年度	0	10	令和 4 年度	0	10	令和 5 年度	0	10	令和 6 年度	7	10	令和 7 年度	0	10	令和 8 年度	0	10	令和 9 年度	0	10
年度	実績値	目標値																																	
令和 2 年度	0	10																																	
令和 3 年度	0	10																																	
令和 4 年度	0	10																																	
令和 5 年度	0	10																																	
令和 6 年度	7	10																																	
令和 7 年度	0	10																																	
令和 8 年度	0	10																																	
令和 9 年度	0	10																																	

【検証番号】33

施策名		自治体行政スマートプロジェクトの推進																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
企画経営課		A I、R P Aを活用している業務数（累計）				20業務	0業務																												
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値				7業務	12業務																														
達成率				35.0%	60.0%																														
今後の方向性				現状のま ま継続	現状のま ま継続																														
実績値の前年比増減理由		令和6年度は5業務についてAI-OCR、RPAを導入したため。																																	
①令和 6 年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①令和6年度は5業務について導入し、186時間の業務時間削減を実現した。 なお、累計の業務削減時間は846時間。 ②今後の方向性は現状のまま継続としているが、令和7年度はシステムの標準化に伴って、既に導入しているAI-OCR及びRPAの作り替えが発生するため、新規の導入は行わず、令和8年度以降に8業務の導入を行う予定。																																	
担当課の意見		達成率は問題なく進捗しているが、システム標準化の影響を考慮すると令和8年度以降に8業務への導入が必要な状況。達成に向けては令和7年度にシステム標準化の対応を着実に完了させるとともに、次年度以降導入業務の選定も進めていく。																																	
実績値の推移		<div>AI、RPAを活用している業務数（累計）</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>0</td><td>20</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>0</td><td>20</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>0</td><td>20</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>7</td><td>20</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>12</td><td>20</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>0</td><td>20</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td>0</td><td>20</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td>0</td><td>20</td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度	0	20	令和3年度	0	20	令和4年度	0	20	令和5年度	7	20	令和6年度	12	20	令和7年度	0	20	令和8年度	0	20	令和9年度	0	20
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度	0	20																																	
令和3年度	0	20																																	
令和4年度	0	20																																	
令和5年度	7	20																																	
令和6年度	12	20																																	
令和7年度	0	20																																	
令和8年度	0	20																																	
令和9年度	0	20																																	

【検証番号】34

施策名		SDGsを理解する																								
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																		
企画経営課		SDGs市民認知率					78.5%	70.5%																		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																		
実績値	71.0%	79.2%	80.9%	70.5%	67.2%																					
達成率	90.4%	100.9%	103.1%	89.8%	85.6%																					
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続																					
実績値の前年比増減理由		認知率は減少したが、前年に比べ「SDGsを概ね知っている」の割合は増加しており、市民のSDGsに対する理解度が深まってきていると思われる。																								
①令和 6 年度の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		①持続可能な地域社会を形成することを目的とした玉名圏域定住自立圏において、SDGs啓発用ぬりえの配布、圏域内の熊本県SDGs登録事業者のSDGs目標達成に向けた取組表彰及びパネル展示や広報誌掲載による住民への紹介、自治体職員のSDGs合同研修、JICAパネル展の実施、住民向けの多文化共生イベントを実施した。また、活力ある社会経済を形成することを目的とした熊本連携中枢都市圏において、こども服の回収・無料配布を実施した。 ②定住自立圏や連携中枢都市圏の枠組みで行うことにより、財政的、規模的にも多くの活動が行えることから、今後もこの枠組みを活用して事業を実施する。																								
担当課の意見		令和6年度に実施した、啓発用のぬりえ配布、自治体職員のSDGs合同研修、JICAの活動パネル展示、在住外国人と日本人との交流イベント、SDGs登録事業者の取組表彰及び紹介などにおいて、参加自治体や参加者から好評を得ることができた。SDGs合同研修においては、SDGsへの理解を深め、職員の意識向上に繋がった。また、保育所・幼稚園・小学校低年齢層へのぬり絵配布は、家庭で家族と一緒に取り組めるよう、夏休みに合わせて配布を行った。令和7年度も定住自立圏や連携中枢都市圏の枠組みを活用した取組を行い、SDGs認知率の向上及び実現を図っていく。																								
実績値の推移		※令和3年度、令和4年度の実績値は、玉名市職員を対象として実施したSDGs認知度アンケート結果で「SDGsを概ね知っている」又は「ある程度知っている」と答えた者の値。 SDGs市民認知率 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td>71.0%</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>79.2%</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>80.9%</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>70.5%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>67.2%</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td></tr></tbody></table>							年度	実績値	令和2年度	71.0%	令和3年度	79.2%	令和4年度	80.9%	令和5年度	70.5%	令和6年度	67.2%	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
年度	実績値																									
令和2年度	71.0%																									
令和3年度	79.2%																									
令和4年度	80.9%																									
令和5年度	70.5%																									
令和6年度	67.2%																									
令和7年度																										
令和8年度																										
令和9年度																										

【検証番号】35

施策名		自治体D X の推進																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
地域振興課		玉名市公式 L I N E の登録者数					20,000人	7,300人																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値				9,670人	17,232人																														
達成率				48.4%	86.2%																														
今後の方向性				拡充して継続	拡充して継続																														
実績値の前年比増減理由		定額減税給付金のオンライン申請、保育入所（継続利用）のLINE申込の採用に伴う新規ユーザーの獲得による。																																	
①令和 6 年度 の取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		行政手続きをはじめ、各種手続き、サービスのLINE上でのオンライン化を促進し、さらなる新規ユーザーの獲得に努める。																																	
担当課の意見		今後、子育て世代に向けた福祉分野のオンラインサービスが複数本待機中。リリースに向けた検証を鋭意実施中であり、順次運用を開始する。これに伴い、登録者数の目標値は令和 7 年度で達成の見込み。																																	
実績値の推移		<div>玉名市公式LINEの登録者数</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和2年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>9,670人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>17,232人</td><td></td></tr><tr><td>令和7年度</td><td></td><td>20,000人</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和9年度</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							年度	実績値	目標値	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度	9,670人		令和6年度	17,232人		令和7年度		20,000人	令和8年度			令和9年度		
年度	実績値	目標値																																	
令和2年度																																			
令和3年度																																			
令和4年度																																			
令和5年度	9,670人																																		
令和6年度	17,232人																																		
令和7年度		20,000人																																	
令和8年度																																			
令和9年度																																			

施策名		自治体D X の推進																																	
担当課		成果指標と 8 年後の目標値						基準値																											
情報政策課		コンビニ等で交付した証明書の発行割合					30.0%	15.4%																											
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度																											
実績値				19.6%	27.8%																														
達成率				65.3%	92.7%																														
今後の方向性				拡充して継続	現状のまま継続																														
実績値の前年比増減理由		(1)本庁 1 F にマルチコピー機の設置し、証明書の発行・使用方法の説明を実施 (2)コンビニ交付時の証明手数料の減額措置(窓口より100円減額)																																	
①令和 6 年度 of 取組と ②「今後の方向性」を踏まえたこれからの取組について		本市におけるマイナンバーカードの保有率(現在約77%)の向上と引続き本庁市民課窓口へ来庁された方への周知・誘導を実施することで、来庁することなく好きな時間(6：30~23：00…戸籍は開庁時間)で近くのコンビニで証明書の取得が可能であることをお知らせする。																																	
担当課の意見		来庁者への市民課窓口での丁寧な説明・周知と手数料減額の相乗効果により、コンビニ交付への誘導が順調に進んでいるものとする。 また、マイナンバーカードの普及・促進として、休日交付の実施等により着実に保有率も上がっている。 今後、地域振興課情報発信係と連携し、広報・HP・LINEによる情報発信により更なる向上を目指す。																																	
実績値の推移		<div>コンビニ等で交付した証明書の発行割合</div> <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和 2 年度</td><td></td><td>30.0%</td></tr><tr><td>令和 3 年度</td><td></td><td>30.0%</td></tr><tr><td>令和 4 年度</td><td></td><td>30.0%</td></tr><tr><td>令和 5 年度</td><td>19.6%</td><td>30.0%</td></tr><tr><td>令和 6 年度</td><td>27.8%</td><td>30.0%</td></tr><tr><td>令和 7 年度</td><td></td><td>30.0%</td></tr><tr><td>令和 8 年度</td><td></td><td>30.0%</td></tr><tr><td>令和 9 年度</td><td></td><td>30.0%</td></tr></tbody></table>							年度	実績値 (%)	目標値 (%)	令和 2 年度		30.0%	令和 3 年度		30.0%	令和 4 年度		30.0%	令和 5 年度	19.6%	30.0%	令和 6 年度	27.8%	30.0%	令和 7 年度		30.0%	令和 8 年度		30.0%	令和 9 年度		30.0%
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																																	
令和 2 年度		30.0%																																	
令和 3 年度		30.0%																																	
令和 4 年度		30.0%																																	
令和 5 年度	19.6%	30.0%																																	
令和 6 年度	27.8%	30.0%																																	
令和 7 年度		30.0%																																	
令和 8 年度		30.0%																																	
令和 9 年度		30.0%																																	